

湖南市長 生田 邦夫 宛

（申請者）

所在地 湖南市石部東七丁目5番9号

名称 特定非営利活動法人 わあく

代表者名 理事長 宇野 正信

家庭的保育事業等設置認可申請書

児童福祉法第34条の15第2項の規定により、家庭的保育事業等の認可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の種類

- ☐ 家庭的保育事業 ☒ 小規模保育事業（ ☒ A型 ☐ B型 ☐ C型 ）
☐ 事業所内保育事業（ ☐ 保育所型 ☐ 小規模型 ）

2 家庭的保育事業等の事業所の名称

あったか保育室つぼみ

3 家庭的保育事業等の事業所の所在地

湖南市石部東七丁目3番18号

4 事業開始の予定年月日

2024年（令和6年）4月1日

フリガナ	アッタカホイクシツツボミ
(1) 事業所の名称	あったか保育室つぼみ
(2) 事業所の所在地	〒 520 — 3107 住所：湖南省石部東七丁目3番18号 電話： 0748-77-6723 ファックス： 0748-77-6723 メールアドレス： npowai@ex.bw.dream.jp
フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン ワアク
(3) 設置者名等	特定非営利活動法人 わあく
(4) 主たる事務所の所在地 又は設置者住所	〒 520 — 3107 住所：湖南省石部東七丁目5番9号 電話： 0748-77-6723 ファックス： 0748-64-9065 メールアドレス： houiin-iimukyoku@dream.jp
フリガナ	ウノ マサノブ
(5) 代表者	(氏名) 宇野 正信 (職名) 理事長 ☐ 大正 (生年月日) ☒ 昭和 26 年 12 月 13 日 ☐ 平成 (代表就任年月日) ☐ 平成 5 年 7 月 1 日 ☒ 令和 〒 520 — 3111 住所：湖南省東寺二丁目7-10 電話： 0748-77-4967 ファックス：
フリガナ	ナカガワ ユタカ
(6) 管理者	(氏名) 中川 豊 (職名) 園長 ☐ 大正 (生年月日) ☒ 昭和 26 年 1 月 10 日 ☐ 平成 (代表就任年月日) ☐ 昭和 6 年 4 月 1 日 ☒ 令和 (資格の有無) ☐ 有 資格の種類 () ・ ☒ 無 〒 520 — 3103 住所：湖南省宝来坂一丁目5番1号 電話： 0748-77-4656 ファックス：
フリガナ	アッタカホイクシツツボミ
(7) 緊急連絡先	(氏名) あったか保育室つぼみ (災害時等で市から緊急連絡が必要となった場合の連絡先) 電話： 080-1478-4617

※申請日現在、認可外保育施設等を運営されており、その施設を当該家庭的保育事業等として申請されている場合は、その管理者就任年月日

(8) 事業開始予定年月日		令和6年 4 月 1 日			
(9) 申請する事業の種類		☐ 家庭的保育事業 ☒ 小規模保育事業 (☒ A型 ☐ B型 ☐ C型) ☐ 事業所内保育事業 (☐ 保育所型 ☐ 小規模型)			
(10) 連携施設	フリガナ	コナンシリツイシベホイクエン			
	名称	湖南省立石部保育園			
	住所	〒 520 — 3106 住所：湖南省石部中央三丁目9-20 電話： 0748-77-2073 ファックス：			
	施設の種類	☐ 認定こども園 (☐ 幼保連携型 ☐ 保育所型 ☐ 幼稚園型) ☐ 幼稚園 ☒ 保育所			
	法人種別	☐ 同一法人もしくは系列法人 ☒ その他 ()			
	連携内容	☒ 乳幼児卒園後の受入 ☒ 相談や助言による支援 ☒ 合同保育に関する支援 ☒ 代替保育の提供 ☐ 食事の提供に関する支援 ☒ 嘱託医による健康診断等による支援 ☐ 屋外遊技場の利用に関する支援 ☒ 行事への参加に関する支援 ☐ その他 () 【具体的連携内容】 連携会議を定例的（2～3か月に1回）に開催し、上記の連携項目の実施方法について協議を行い、具体的な実施にあたって円滑な連携が図れるように体制を整えておく。 【卒園後、連携施設からの保育状況等に関する照会への対応方法】 保護者からの承諾をあらかじめ得ておき、連携施設からの照会があた場合に限り、保育状況等に関する必要最小限度の情報について、記録の写しの提供または口頭による提供を行う。			
距離	施設からの距離 1.2 k m				
(11) 認可定員		0歳児	1歳児	2歳児	合計
		3 人	3 人	4 人	10 人
事業所内保育事業におけるその他の乳幼児の定員		人	人	人	人
(12) 開所時間		通常開所時間	時間外開所時間	一時預かり ☐ 有 : ☒ 無	備考
平日		7:30 ～ 18:30	18:30 ～ 19:00	～	
土曜日		7:30 ～ 18:30	18:30 ～ 19:00	～	
日・祝日		～	～	～	
(13) 休園日		年末年始(12/29～1/3)			
(14) 実費徴収		☒ 有 内容 ☐ 無 ((1)日用品、文房具の購入費用 (2)行事の参加費用)			
(15) 上乗せ徴収		☒ 有 (内容：時間外の保育費用) ☐ 無 (理由：対応する保育士等の人件費、施設維持費) (金額：30分あたり500円)			

(16) 施設・整備関係	室名	乳児室		保育室		合計	
	室数 面積※	1 室 20.36 m ²		1 室 13.9 m ²		5 室	
	室名	幼児用便所	職員用便所 (左と兼用)	調理室 (台所)	その他 (浴室)		
	室数 面積※	1 室 2.56 m ² 大 1 器 小 器	(1) 室 (2.56) m ² 大 (1) 器 小 器	1 室 6.77 m ²	1 室 3.39 m ²	46.98 m ²	
	※面積は壁の内側の用途に供する部分						
	調理関係	☒ 調理室 ☐ 調理施設					
	床の材質等	☒ フローリング ☒ 畳 ☐ その他 ()					
	幼児用手洗設備	☒ 有 ☐ 無					
	乳幼児用沐浴設備	☒ 有 ☐ 無					
	その他の設備						
	建物の 建築年月日	☒ 昭 和 63 年 12 月 1 日 ☐ 平 成					
	建築確認日	☒ 昭 和 64 年 1 月 日 (昭和56年6月以降に建築確認を受けた建物でない場合以下①②へ) ☐ 平 成					
	①耐震診断	☐ 実施済(実施年月日: 年 月 日 ☐ 未実施 (☐ 耐震基準を満たしている ☐ 耐震基準を満たしていない)					
	②耐震工事	☐ 実施済(実施年月日: 年 月 日 ☐ 未実施					
	建物の形態	☐ 専用建物 ☐ 集合住宅 ☒ 一般住宅 ☐ 店舗付住宅 ☐ 事務所ビル ☐ その他 (複合用途: 日中一時支援・相談支援 等)					
	建物の構造	☐ 耐火建築物 ☒ 準耐火建築物 ☐ その他 ()					
土地の権利関係	☐ 自己所有 ☒ 賃貸(相手方氏名湖南省市 月額賃料 6,931 円						
建物の権利関係	☒ 自己所有 ☐ 賃貸(相手方氏名 月額賃料 円						
(17)屋外遊技場の場所および面積	☐ 敷地内 面積 ☐ 隣接地 ☒ 公園 (吉姫公園2.2ha コミュニティーセンター広場0.1haの内) ☐ 連携施設 () ☐ その他 () 2,000 m ²						
(18)保育用具	品名	規格	数量	単価	時価(総額)	新品中古の別	保有の形態
	おひるねベッド	すやすや132	5	¥10,903	¥54,515	新	所有
	おまる	ステップ式	1	¥3,179	¥3,179	新	所有
	おまる	シンプル	1	¥1,979	¥1,979	新	所有
	おまる	3WAY	1	¥2,479	¥2,479	新	所有
	ベビーカー	屋根付き 対面4人乗り	1	¥82,404	¥82,404	新	所有
	ままごとセット		1	¥14,200	¥14,200	新	所有
	エクサマット	NE-6 T7922	3	¥3,213	¥9,639	新	所有
	半円(中)2点セット	中	1	¥98,496	¥98,496	新	所有
	ジャンプマット		1	¥35,640	¥35,640	新	所有
	おむつ交換マット	ビシエス	1	¥16,740	¥16,740	新	所有
	テーブル	鏡面木目	1	¥4,720	¥4,720	新	所有
	いす	ベビーチェア	5	¥11,923	¥59,615	新	所有
	トイ物置	エルモLMD	1	¥171,960	¥171,960	新	所有
	合計				—	¥555,566	—

(19) 提携医療機関	フリガナ		ノムラショウニカ		ミネノシカイイン	
	提携医療機関名		のむら小児科		みねの歯科医院	
	住所		〒 520-3106 住所： 湖南省市石部中央2丁目1-10 電話・FAX：0748-77-8228		〒 520-3108 住所： 湖南省市石部南7-1-7 電話・FAX：0748-77-4722	
	提携内容		内科・小児科の健診・健康相談		歯科の健診・健康相談	
(20) 安全対策	消火設備の設置		☒ 有 (☒ 消火器 ☐ その他 () ☐ 無			
	警報・通報設備		☒ 火災報知器等非常警報器具又は設備 (☐ 火災報知器) ☐ 消防機関へ火災を通報する設備 ()			
	避難器具		☒ 有 ☐ 無			
	防災処理		☒ カーテン (☒ 防災物品) ☒ 敷物 (☒ 防災物品) ☐ 建具等 (☐ 防災物品 ☐ 防災スプレー)			
	玄関以外の非常口		☒ 有 ☐ 無 無の場合の避難器具⇒ ☐ 有 ☐ 無			
	消防計画		☒ 有 (届出年月日 ☐ 昭和 ☒ 平成 30 年 2 月 9 日・ ☐ 未届 ☐ 無			
			防災管理者氏名：			
	避難・救出等訓練		通報訓練：年 4 回 避難・救出訓練：年 12 回 消火訓練：年 2 回			
	2階保育室	転落防止設備		☐ 窓柵 ☐ テラス手すり ☐ 階段手すり ☐ その他 ()		
		避難設備	常用	☐ 屋内階段 ☐ 屋外階段		
	3階保育室※		避難設備	避難	☐ 屋内階段 ☐ 屋外階段 ☐ 待避上有効なバルコニー ☐ 準耐火構造の屋外傾斜 ☐ その他 ()	
		転落防止設備		☐ 窓柵 ☐ テラス手すり ☐ 階段手すり ☐ その他 ()		
	3階保育室※	避難設備	常用	☐ 屋内避難階段 (保育室等から30m以内にあるもの) ☐ 屋外避難階段等 (保育室等から30m以内にあるもの)		
			避難	☐ 屋内避難階段 (保育室等から30m以内にあるもの) ☐ 屋外避難階段等 (保育室等から30m以内にあるもの) ☐ 準耐火構造の屋外傾斜 (保育室等から30m以内にあるもの) ☐ その他 ()		
	3階保育室※	調理設備部分の防火区画		☐ 耐火構造の床又は耐火構造の壁 ☐ 特定防火設備		
		調理設備部分の防火設備		☐ ダンパー ☐ スプリンクラー ☐ 自動消火装置		
3階保育室※	不燃材仕上げ		☐ 事業所の壁 ☐ 事業所の天井の室内に面する部分			
	※保育室が4階以上の場合には別途要件あり					
(21) 緊急時における対応方法	対応マニュアル		☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無			
	緊急時に乳幼児の安全を確保するための考え方		通常の保育者だけでは足りないため、応援を呼ぶ。隣接の事業所（グループホームわいわい）、近隣住民との連携を図る。			
	乳幼児のけが、急病時の具体的対応策		隣接の事業所（グループホームわいわい）の看護師に助けを求め、必要に応じて、近隣の医療機関（いしべ医療センター等）への受診や救急搬送を求める。			
	不審者の侵入など緊急時の対応策		事前に防御策を立てて保育者に周知し、侵入された出口から一番遠い出口から逃げるとともに、近隣に助けを求める。			
	火災発生時の対応策		初期消火に努めるとともに、消防車を呼び近隣に助けを求め、避難する。			
その他の緊急時における具体的方策		保育者同志で連携し、落ち着いて、安全な避難を行う。				

(22)	非常災害対策に関する指針	☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無
	関係機関への連絡体制	☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無
	利用乳幼児の保護者への周知	☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無
	非常災害に関する訓練や地域との連携を含めた具体的な対応策	避難訓練、通報訓練および消火訓練を定期的（毎月～1年に2回）に実施し、近隣の地域住民や地区の民生委員児童委員の参加を呼び掛ける。
	乳幼児の虐待に対する考え方や具体的な対応策	管理者、保育士および保育補助者に対し、乳幼児虐待の防止に関する研修会を年1回実施するとともに、虐待防止受付担当者を選任し、第三者委員との連携を図る。
	乳幼児の安全を確保するための措置	緊急時等における対応マニュアル、消防・防災計画、非常災害対策指針、事故発生防止指針、食中毒及び感染症予防対策マニュアルなど、乳幼児の安全を確保するための基本方針・予防措置・事案発生時の具体的対応等を記した書類を整備し、研修と訓練により保育者、地域住民および保護者に浸透させる。
	利用乳幼児やその保護者が安心して利用できる環境づくりのための方策（市・地域・医療機関等関連機関との連携方策）	緊急時・発災時において迅速かつ正確な情報伝達ができるよう、平時から緊急連絡先の情報を整理しておくとともに、日頃の交流や訓練を通じて、顔の見える関係づくりに努める。
(23)	事故が発生した場合の対応	
	事故発生時の対応・事故発生又は再発防止策等に関する指針の策定	☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無
	状況及び事故後の措置の記録	☒ 作成する ☐ 作成しない
	事故発生時の具体的対応策	傷への応急処置を行い、医療機関での受療や救急車による病院への搬送依頼を行う。 遅滞なく保護者への連絡を行う。
	事故若しくはその危険性がある事態が生じた場合の管理者への報告体制	事故発生時の指示系統については、管理者（園長）・主任・担任など、順位を付けて明確にするとともに、事故発生時の役割分担を決め、見やすい場所に掲示する。
	事故原因の分析、改善策の作成方法及び職員への周知方法	安全対策として、重大事故に至らない事故についても、日常的に発生する事故を通して検証し、スタッフ間で振り返りを行うことにより、未然に事故を防ぐことができるように取り組む。また、重大事故が発生した場合には、整理された事実関係を基に、子どもやその保護者の視点に立って発生原因の検証を行うことにより、必要な再発防止策を検討し、保育者に周知する。
	子どもの安全管理に関する職員研修	保育者に対して子どもの安全確保に関する研修に積極的に参加させ、全ての者が緊急対応（心肺蘇生法、気道内異物除去等）の実技講習、事故発生時の対処方法を身に付ける実践的な研修を通じて、事故防止に係る能力の向上に努める。また、内部研修や会議の機会を活用し、事故予防のための能力向上にも努める。
(24)	加入状況	☒ 加入 ☐ 今後加入予定 ☐ 未加入
	保険の種類	☒ 賠償責任保険 ☒ 傷害保険 ☒ その他 （ ☐ 火災保険 ） （ 加入予定にあっては、 予定する種類をチェック ）
	保険内容（加入予定にあっては記載すること）	1) 賠償責任保険 施設所有管理、生産物 2) 傷害保険 死亡・後遺障害、入院、通院 3) 火災保険 建物の火災・風災等
	保険金額（加入予定にあっては記載すること）	1) 賠償責任保険 施設所有管理：支払限度額 1名2億円、1事故2億円 生産物：支払限度額 1名2億円、1事故2億円 2) 傷害保険 死亡・後遺障害：1名4百万円、入院日額1名4千円、通院日額1名2千円 3) 火災保険：2千万円、施設賠償責任特約1億円

(26) 職員の状況

職員の状況 （小規模保育事業A型・B型・事業所内保育事業）	職 種		保育従事者 （保育士資格有り）		保育従事者 （保育士資格無し）		医師（嘱託医）			
			専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務		
	配置 職員数	常勤	3 人	人	1 人	人	人	人		
		非常勤	人	1 人	人	人	人	人		
	常勤換算後人数		3.3 人		人		人			
	基準上の必要人数		3 人		人		人			
	平均勤続年数		5 年		5 年		年			
	平均経験年数		8 年		5 年		年			
	職 種		調理員		その他の職員					
			専 従	兼 務	専 従	兼 務				
配置 職員数	常勤	人	人	人	人					
	非常勤	1 人	1 人	人	1 人					
常勤換算後人数		人		人						
基準上の必要人数		1 人		人						
平均勤続年数		5 年		年						
平均経験年数		5 年		年						
職員の状況 （小規模保育事業C型・家庭的保育事業）	職 種		家庭的保育者 （保育士資格有り）		家庭的保育者 （保育士資格無し）				家庭的保育補助者	
			専 従	兼 務	専 従	兼 務			専 従	兼 務
	配置 職員数	常勤	人	人	人	人	人	人		
		非常勤	人	人	人	人	人	人		
	常勤換算後人数		人		人		人			
	基準上の必要人数		人		人		人			
	平均勤続年数		年		年		年			
	平均経験年数		年		年		年			
	職 種		医師（嘱託医）		栄養士・調理員		その他の職員			
			専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務		
	配置 職員数	常勤	人	人	人	人	人	人		
		非常勤	人	人	人	人	人	人		
	常勤換算後人数		人		人		人			
	基準上の必要人数		人		人		人			
	平均勤続年数		年		年		年			
平均経験年数		年		年		年				

(27) 保育の方針 (事業の目的及び運営の方針、保育における基本的な考え方、乳幼児保育の留意点及び提

供する保育の内容等)

病児保育	☐ 実施する	☒ 実施しない
障がい児保育	☒ 実施する	☐ 実施しない
障がい児対応	☒ 実施する	☐ 実施しない

【具体的な内容】

(事業の目的)

保育を必要とする児童を日々受け入れ、保育を行うことを目的とします。

(運営の方針)

1) 良質な水準かつ適切な内容の特定地域型保育の提供を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指します。

2) 利用子どもの意思および人格を尊重して、常に利用子どもの立場に立って、特定地域型保育を提供するよう努めます。

3) 地域および家庭との結び付きを重視した運営を行い、県、市、小学校、他の特定教育・保育施設等、地域子ども・子育て支援事業を行う者、他の児童福祉施設その他の学校または保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。

4) 利用子どもの人権の擁護、虐待の防止等のため、責任者を設置する等必要な体制の整備を行うとともに、保育担当者に対し、研修を実施する等の措置を講ずるよう努めます。

(保育における基本的な考え方)

一人ひとりの人権を尊重し、言葉がけや心遣いに配慮し、子どもの思いに寄り沿った支援に心がけます。

(乳幼児保育の留意点)

少人数で異年齢の子どもたちが安心してすごせる あったか保育に努めます。

(提供する保育の内容)

子ども・子育て支援法、その他関係法令等を遵守し、保育所保育指針に準じ、事業の特性に留意して、利用子どもの心身の状況等に応じて、特定地域型保育を提供します。

※保育計画を添付すること。

(28) 一時預かり等地域子育て支援事業に関する実施内容

(実施の予定はありません。)

(29) 利用手続き・利用者に対する事前説明の状況

運営規定および重要事項説明書を作成するとともに、入園のしおりを作成し、利用手続きや保育内容を分かりやすく説明します。

(30) 運営に関する自己評価等 (自己評価の方法・内容及び外部評価の方法・内容並びにそれらの公表及び業務改善について)

半年に一度、スタッフそれぞれが自己評価表に基づき評価します。評価項目は、主に子どもの生活・遊びに関わる保育への配慮、保護者支援関係、事業所の理念および運営への意識とします。

外部評価に関しては、評価機関からの客観的な評価と助言が得られることから、2年に1回を目途に実施します。

自己評価および外部評価により抽出された課題については改善方策を内部で検討するとともに、改善状況も併せてホームページで公表します。

(31) 給食・調理等

給食の提供方法	☒ 事業所内調理（自園調理） ☐ 委託による事業所内調理 ☐ 外部搬入		
フリガナ	アベケイコ		
責任者氏名等	(氏名) 安部 啓子	(職名)	調理者
責任者住所等	〒 520 — 3235 湖南省市平松北二丁目1-202 電話： 090-2703-0627		
フリガナ			
委託先名称			
委託先住所等	〒 — 住所： 電話：		
搬入施設 (外部搬入の場合)	☐ 連携施設 () ☐ 関連小規模保育事業等 () ☐ 社会福祉施設 () ☐ 病院等医療機関 () ☐ その他 ()		
搬入施設住所等	〒 — 住所： 電話：		
調理設備	☒ ガスコンロ等 ☐ 冷凍庫 ☒ 電子レンジ ☒ 手洗い ☒ 冷蔵庫 ☒ オーブン ☒ シンク ☒ 食器消毒保管庫 ☐ その他 ☒ 調理台 ☒ 食器棚 () ☒ 食器洗浄機		
調理施設の設置場所	1 階調理室（台所）		
栄養士による配慮	☒ 事業所内 ☐ 保健所 ☐ 連携施設 ☐ 外販先 ☐ 委託業者 ☐ その他（湖南省市からの支援）		
献立の作成	☒ 事業所職員（ ☒ 栄養士 ☐ 調理師 ☐ 左記以外（ ） ） ☐ その他（湖南省市の献立を援用）		
アレルギー等への対応	☒ 対応する ☐ 対応しない		
調理設備に係る乳幼児への安全対策	調理室（台所）においては、厚生労働省が平成28年3月の作成した「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」に基づき、 ・調理室（台所）への子どもの入室の禁止 ・職員が不在になる時の施錠 を徹底するとともに、調理設備は、常に衛生的な状態に管理し、感染症又は食中毒が発生し、またはまん延しないように塩素系消毒剤で消毒するなど必要な措置を講じます。 また、給食の提供は、「児童福祉施設における食事の提供ガイド」（平成22年厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課監修）に基づき行います		

※外部搬入により食事を提供する場合は、搬入施設との契約書等を添付すること。
 ※委託による調理で食事を提供する場合は、委託先との契約書等を添付すること。

ア 給食の提供方法・献立・食品の種類・栄養量・調理方法・食育・アレルギー対応に関する方針

※ 連携施設等から給食を搬入する場合、上記のほか、その経路や衛生面の確保の方法、栄養の観点を踏まえた体制、食事の提供に関する責任の所在についても記載すること。

【具体的方策】

（給食の提供方法）

当家庭的保育事業所の調理室において調理した給食を喫食までの温度管理（１０℃以下で管理）を徹底し、食事を提供します。

（献立・食品の種類・栄養量）

湖南市の献立を援用して献立を作成し、多様な食品および調理の方法を組み合わせるよう配慮し、利用乳幼児の健全な発育に必要な栄養量を含有するよう配慮します。

（おやつ）

幼児期は、１回に食べることでできる量も限られ、必要なエネルギーや栄養素量を満たすことが難しいことから、おやつにより栄養素を補います。内容は、単なるお菓子ではなく牛乳・乳製品、いも類、ご飯類、果物類など、食事ではとりきれないものを加えるなど配慮します。

（食育）

利用乳幼児の健康な生活の基本としての食を営む力を育成するため、子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との交流の機会を持つなど配慮します。

（アレルギー対応等）

一人一人の子どもに対して臨機応変な食事の提供に努めることとし、体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に、適切に対応します。

イ 食中毒予防策（発生・まん延防止のための措置などの対応）

【具体的方策】

給食を保管する調理室（台所）の衛生管理および再調理する場合の衛生管理は、国の「大量調理施設衛生管理マニュアル」を参考にしています。

- ・給食の出来上がりから喫食までの温度管理（１０℃以下の保存）の徹底
- ・食べる前の手洗い
- ・食卓（机）の消毒
- ・布巾の熱湯消毒
- ・調理後２時間以内の食べ終わり
- ・残したものの食事禁止

食中毒の予防の観点から、調理施設・器具等の衛生管理、調理担当者の健康管理・身支度・手洗い等を徹底し、また、標準作業手順書や実施記録（担当者、時間）、保存食等を整備します。

(32) 健康管理及び衛生管理

定期健康診断	乳幼児対象：年 2 回	職員対象：年 1 回
検便の実施	調理員対象：年 12 回	その他（ノロウイルス検査(10～3月)）：年 1 回
乳幼児の発育検査	☒ 実施する⇒（ ☒ 身体計測 ☐ 他 _____） ☐ 実施しない	
備えられている医薬品	☒ 体温計 ☒ 水まくら類 ☒ 外用・消毒薬 ☒ 絆創膏類 ☐ 他（ _____ ）	
乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防策	プレスチェック ⇒ ☒ 実施する ☐ 実施しない 仰向け寝 ⇒ ☒ 実施する ☐ 実施しない その他（ _____ ）	

- ※ 乳幼児は、保育開始時の健康診断、少なくとも1年に2回の定期及び臨時の健康診断が必要。
- ※ 職員は、採用時及び1年に1回、定期健康診断が必要。
- ※ 給食提供に関わる職員は、概ね毎月の検便が必要。

ア 施設の衛生管理に関する具体的方策（乳幼児の保健衛生や採光、換気、乳幼児の使用する食器、飲用に供する水など）

【具体的方策】

- ・外からの自然な光を取り入れて明るい室内にします。
- ・外気に応じた室温の調節や湿度の調節に努めるとともに、適度な換気を行います。
- ・食器は洗浄し、衛生を保ちます。
- ・乳児用ミルクは、原則として水道水を使用し、やむを得ずミネラルウォーターを使用する場合には、軟水を使用し、煮沸します。

イ 乳幼児の日々の健康管理に関する方針及び実施内容

【具体的方策】

- ・利用開始時に健康診断を行うとともに、1年に2回の定期健康診断および臨時の健康診断を、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)に規定する健康診断に準じて行います。
- ・日常的には、保育中の一般状態の観察を行うとともに、睡眠時の健康観察を行い、必要に応じて体温を計ります。

ウ 疾病予防（感染症）の対応等（感染症予防・発生時の対応等どのような対策を行うか。）

【具体的方策】

- ・感染症の特徴、予防対策、発生時の対応等を取りまとめた「感染症対策マニュアル」を備え付け、研修やミーティングの機会を通じて保育者に周知します。
- ・利用乳幼児には、インフルエンザ等感染症の予防接種を受けるよう勧めます。（アレルギーがある場合などは除きます。）
- ・感染している子どもの早期発見に努めます。
- ・換気をこまめに行うとともに、冬季には室内を加湿します。
- ・ノロウイルスなどに感染し排泄された便や嘔吐物の処理を適切に行います。
- ・手洗い・うがいを励行します。

エ 保育従事者の健康管理に関する具体的方策

【具体的方策】

- ・保育者の定期健康診断を年1回行うとともに、利用乳幼児の食事を調理する者については、検便を毎月行います。
- ・食事前の手洗い・うがいを行います。
- ・感染症の流行期には、マスクを着用します。
- ・おむつの交換時には、手袋を着用します。
- ・インフルエンザ等の予防接種を受けます。

(33)保護者との連携

施設だより	☒ 発行する（年 4 回発行予定） ☐ 発行しない
連 絡 帳	☒ 作成する ☐ 作成しない 作成しない場合の、保護者への連絡方法・手段 ()
保護者との連絡及び連携方法（緊急時の対応を含む）	【具体的方策】 ・連絡帳により日々の様子を確認・伝達します。 ・緊急連絡表を作成し、仕事中などでも連絡のできる所や迎えに来られる方の確認ができるようにします。

(34)苦情の対応についての具体的方策

フリガナ	ムラシマ クミコ	シュニンホイクシ
苦情解決担当者	(氏名) 村島 久美子	(職名) 主任保育士
フリガナ	シラハセ ヤスノリ	リジ
苦情解決責任者	(氏名) 白波瀬 康德	(職名) 理事
苦情解決に係る体制整備	☒ 書面にて作成済み ☐ 作成予定 ☐ その他 ()	
第三者委員会の設置	☒ 有 ☐ 設置予定 ☐ 無 第三者委員会に関する概要・対応内容 苦情解決に社会性や客観性を確保し、本人の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため設置する。 対応の内容は、苦情解決担当者等からの受け付けた苦情の報告聴取、苦情申出人からの直接受付、申出人への助言、事業者への助言、申出人と事業者との話し合いへの立会い・助言、苦情解決責任書からの事案の改善状況等の報告聴取	
相談・苦情内容の記録	☒ 実施する ☐ 実施しない	
改善結果の市への報告	☒ 有 ☐ 無	
苦情受付から解決までの手続きについて（受付窓口からその対応策について） 1) 苦情受付担当者は、苦情を随時受け付ける。 2) 苦情受付担当者は、苦情受付に際し、書面に苦情内容、希望、第三者委員への報告の要否などを記載し、その内容について苦情申し出人に確認する。 3) 苦情解決責任者は、苦情申出人との話し合いによる解決に努める。 4) 苦情解決責任者は、受け付けた苦情の解決、改善までの経過と結果について書面に記録し、一定期間ごとに苦情解決結果について第三者委員に報告し、必要な助言を受ける。 5) 苦情解決責任者は、本人によるサービス選択やサービスの信頼性の向上を図るため、個人情報に関するものを除き、広報紙に事業報告および実績を掲載し、公表する。		

(35) 事務所に備える帳簿

職員関連	☐ 職員名簿 ☐ 資格証明書の写し ☐ 賃金台帳 ☐ その他雇用、解雇、災害補償、賃金など労働関係に関する書類	☐ 連絡先 ☐ 採用年月日 ☐ 就業規則
乳幼児関連	☐ 乳幼児の氏名 ☐ 連絡先	☐ 保護者の氏名 ☐ 在籍記録 ☐ 乳幼児の生年月日 ☐ 保育日誌
財産関連	☐ 財産の状態を明らかにする帳簿等	

(36) 秘密の保持・個人情報の取り扱いについての具体的方策

秘密保持に係る研修の実施	☒ 実施する ☐ 実施しない
【具体的方策】 ・個人情報の含まれた書類・資料は、持ち出し禁止とします。 ・個人情報の含まれた書類・資料は、鍵付きのロッカーに保管します。	

(37) 保育従事者の専門性の向上について具体的方策

研修計画の作成	☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無
研修報告書の作成	☒ 有 ☐ 作成予定 ☐ 無
研修受講者から他の職員への周知	☒ 有 ☐ 実施予定 ☐ 無
研修記録の保持	☒ 実施する ☐ 実施しない
【保育従事者育成のための考え方】 安全・安心で質の高い保育を展開するため、次の事項に留意して、絶えず、一人ひとりの保育従事者についての資質向上および全体の専門性の向上に努めます。 1) 子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うため、職場内研修や外部研修を活用して、倫理観、人間性ならびに保育スタッフとしての職務および責任についての理解と自覚を養います。 2) 園全体の保育の質を高めるため、保育実践や研修などを通じて保育の専門性を高めます。 3) 保育スタッフ同士、保育スタッフと子どもまたは保護者との信頼関係を形成していくなかで、常に自己研鑽に努め、喜びや意欲を持って保育にあたります。 4) 感染症対策、アレルギー対応、SIDS（乳幼児突然死症候群）対応など、健康医療面での専門性を高めます。	
【必要に応じて研修内容の見直しを行うなど、職員の計画的な育成に努めるための具体的方策】 研修内容の見直しを行い、スタッフの計画的な育成を図るため、以下の取り組みを進めます。 ・保育者による会議を毎月開催するなかで、受講したい研修内容の協議を行います。 ・法人の理事、事務局が参加する定例の運営会議（毎月開催）に各保育者も参加して、視野を広げます。 ・キャリアアップを図るため、体系的な研修計画を整備します。	
【外部機関が実施する研修の受講についての考え方】 法人が策定した「人材確保・育成のための基本方針」に基づき、事業運営を支える人材を確保し、育成を図るため、家庭的保育事業の全国組織などの外部機関が実施する研修への参加や講座の受講を奨励し、参加費や受講料の助成やスクーリングの勤務扱いなどにより、スタッフのキャリアアップ・キャリア形成を推進します。	

参考：位置図



小規模保育事業 A 型 あったか保育園つぼみ 平面図・面積表 (2023 年 10 月 3 日作成)

【プラン A：0 歳児・1 歳児 6 人 2 歳児以上 4 人】・・・ただし、屋外遊戯場を付近にある「代わるべき場所」が認められれば 2 歳児以上 10 人

① 保育室【赤】の箇所・面積

A) 保育室：和室

[押し入れ除く]

8 畳 $(3.680 \times (1.880 + 1.880) = 13.90 \text{ m}^2)$

基準：1 人につき 1.98 m^2 (2 歳以上 4 人)

4 人 7.92 m^2

B) 乳児室：洋室

12 畳 $(3.680 \times 5.532 = 20.36 \text{ m}^2)$

基準：1 人につき 3.3 m^2 (0 歳 1 歳 6 人)

6 人 19.8 m^2

合計 20 畳 (34.26 m^2)

② 玄関・ホール【黒】 (1.840×2.780)

③ トイレ【青】 $(1.840 \times 1.390) = 2.56 \text{ m}^2$

④ 洗面所【青】 (1.840×1.390)

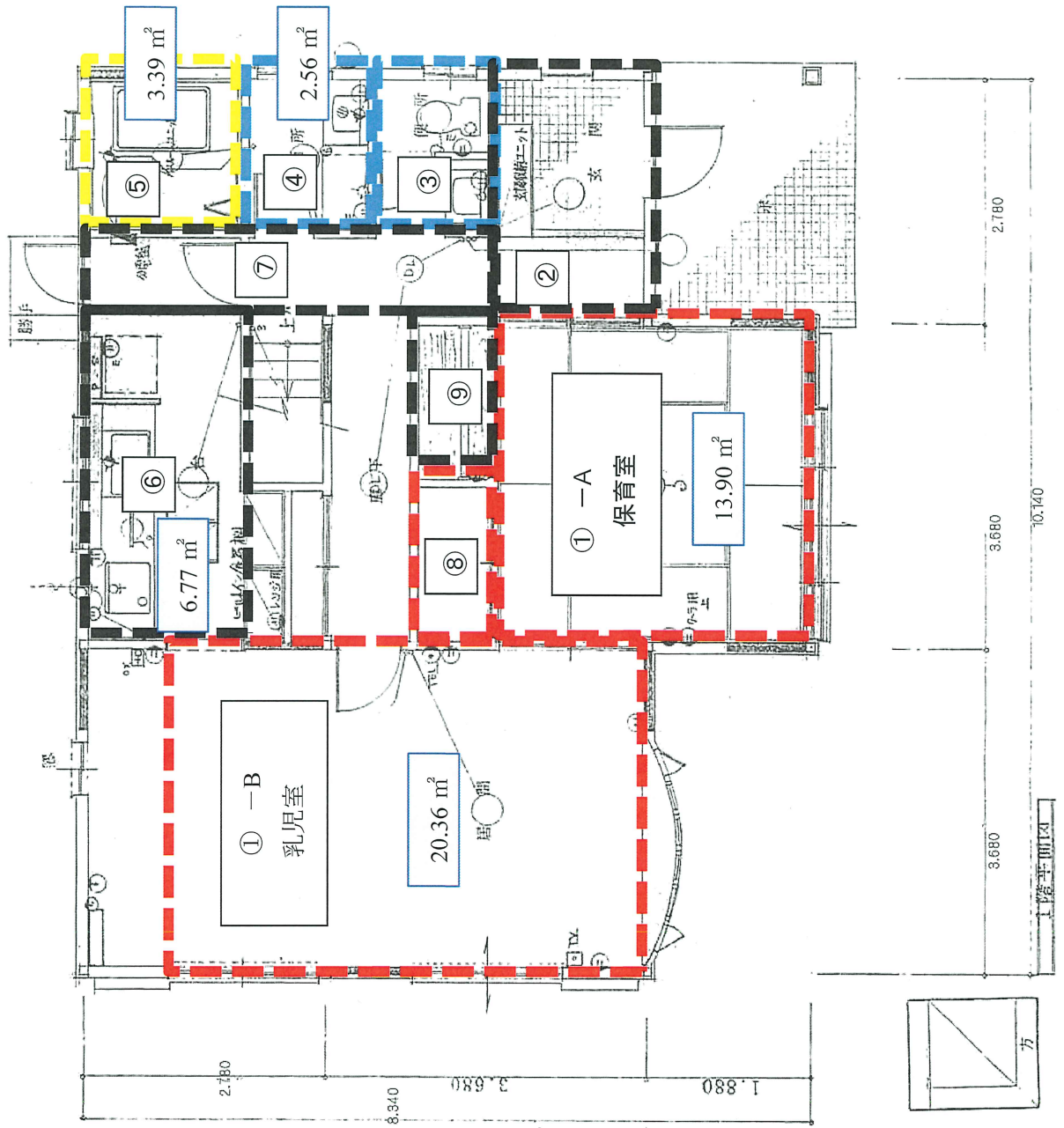
⑤ 浴室【黄】 $(1.840 \times 1.840) = 3.39 \text{ m}^2$

⑥ 調理室【黒】 $(3.680 \times 1.840) = 6.77 \text{ m}^2$

⑦ 廊下【黒】 (4.620×0.920)

⑧ 収納【赤】 (1.840×0.920)

⑨ 手洗【黒】 (1.840×0.920)



○ 子ども・子育て支援新制度では、教育・保育施設を対象とする施設型給付・委託費に加え、以下の保育を市町村による認可事業(地域型保育事業)として、児童福祉法に位置付けた上で、地域型保育給付の対象とし、多様な施設や事業の中から利用者が選択できる仕組みとすることにしている。

◇小規模保育(利用定員6人以上19人以下)

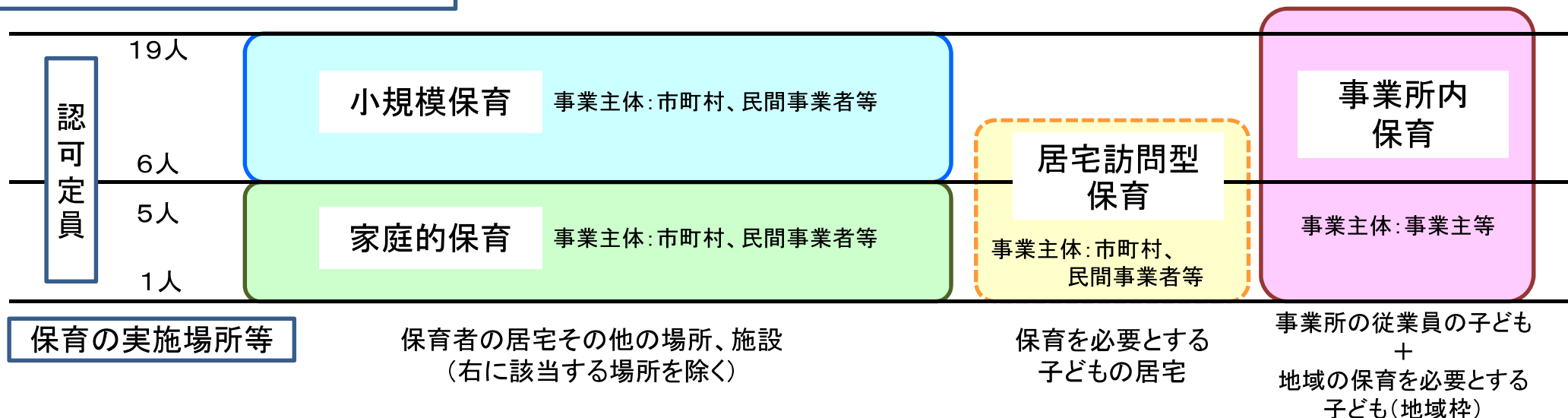
◇家庭的保育(利用定員5人以下)

◇居宅訪問型保育

◇事業所内保育(主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもにも保育を提供)

○ 都市部では、認定こども園等を連携施設として、小規模保育等を増やすことによって、待機児童の解消を図り、人口減少地域では、隣接自治体の認定こども園等と連携しながら、小規模保育等の拠点によって、地域の子育て支援機能を維持・確保することを目指す。

地域型保育事業の位置付け



地域型保育事業の認可基準について

小規模保育事業の認可基準について

- 小規模保育事業については、多様な事業からの移行を想定し、A型(保育所分園、ミニ保育所に近い類型)、C型(家庭的保育(グループ型小規模保育)に近い類型)、B型(中間型)の3類型を設け、認可基準を設定する。
- 特に、B型については、様々な事業形態からの移行が円滑に行われるよう、保育士の割合を1/2以上としているが、同時に、小規模な事業であることに鑑み、保育所と同数の職員配置とせず、1名の追加配置を求めて、質の確保を図る。
- また、保育士の配置比率の向上に伴い、きめ細かな公定価格の設定とすることで、B型で開始した事業所が段階的にA型に移行するよう促し、更に質を高めていくこととしていく。

<主な認可基準>

		保育所	小規模保育事業		
			A型	B型	C型
職員	職員数	0歳児 3:1 1・2歳児 6:1	保育所の配置基準+1名	保育所の配置基準+1名	0～2歳児 3:1 (補助者を置く場合、5:2)
	資格	保育士 ※保健師又は看護師等の特例有(1人まで)	保育士 ※保育所と同様、保健師又は看護師等の特例を設ける。	1/2以上保育士 ※保育所と同様、保健師又は看護師等の特例を設ける。 ※保育士以外には研修実施	家庭的保育者 ※市町村長が行う研修を修了した保育士、保育士と同等以上の知識及び経験を有すると市町村長が認める者
設備・面積	保育室等	0歳・1歳 乳児室 1人当たり1.65㎡ ほふく室 1人当たり3.3㎡ 2歳以上 保育室等 1人当たり1.98㎡	0歳・1歳児 1人当たり3.3㎡ 2歳児 1人当たり1.98㎡	0歳・1歳児 1人当たり3.3㎡ 2歳児 1人当たり1.98㎡	0歳～2歳児 いずれも1人3.3㎡
処遇等	給食	自園調理 ※公立は外部搬入可(特区) 調理室 調理員	自園調理 (連携施設等からの搬入可) 調理設備 調理員	自園調理 (連携施設等からの搬入可) 調理設備 調理員	自園調理 (連携施設等からの搬入可) 調理設備 調理員

- ※ 小規模保育事業については、小規模かつ0～2歳児までの事業であることから、保育内容の支援及び卒園後の受け皿の役割を担う連携施設の設定を求める。
- ※ 連携施設や保育従事者の確保等が期待できない離島・へき地に関しては、連携施設等について、特例措置を設ける。
- ※ また、給食、連携施設の確保に関しては、移行に当たっての経過措置を設ける。
- ※ 保健師又は看護師に係る職員資格の特例については、地方分権に関する政府方針を踏まえ、平成27年4月1日から准看護師についても対象とされている。

令和6年度入所調整資料(2, 3号児新規申請者数・1号児内定者数)

【資料 2】

<2, 3号児新規申請者数>

申請者数	323
辞退者数	5
合計	328

<過去2, 3号児申請者合計数>

R3年度	464
R4年度	436
R5年度	372

<1号児新規内定者数>

平松こども園	10
光星学園 三雲幼稚園	31
京進のこどもえん HOPPA石部	26
阿星あかつき 保育園	6
菩提寺くじら こども園	4
優愛保育園 モンチ	0
光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	10
岩根こども園	3
光星学園認定こども園 水戸幼稚園	18
下田こども園	0
合計	108

<参考>

		合計者数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保 育 園	三雲くじら保育園	42	12	16	5	6	1	2
	甲西あかつき保育園	17	8	4	2	2	1	0
	あしほ乳児保育園	4	2	2	0	0	0	0
	石部保育園	20	8	7	1	3	1	0
	京進のほいくえん HOPPA菩提寺西	19	6	8	3	2	0	0
	京進のほいくえん HOPPA湖南水戸	28	12	5	3	8	0	0
	しおん園	7	5	1	0	1	0	0
こ ど も 園	平松こども園	41	15	13	5	7	1	0
	阿星あかつき保育園	18	11	5	2	0	0	0
	菩提寺くじらこども園	30	7	11	4	7	0	1
	優愛保育園モンチ	16	4	7	1	3	0	1
	光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	1	0	0	0	1	0	0
	岩根こども園	13	4	3	1	5	0	0
	光星学園認定こども園 水戸幼稚園	12	2	4	4	2	0	0
	京進のこどもえん HOPPA石部(新)	20	7	2	5	5	1	0
	下田こども園	26	7	8	6	5	0	0
小 規 模 園	京進のほいくえん HOPPA甲西駅園	4	4	0	0	0	0	0
	サンライズキッズ保育園 湖南石部園	4	4	0	0	0	0	0
	京進のほいくえん HOPPA湖南岩根園	0	0	0	0	0	0	0
	あったか保育室 つぼみ	1	1	0	0	0	0	0
	合計	323	119	96	42	57	5	4

＜2, 3号児新規申請者数＞

申請者数	323
辞退者数	5
合計	328

＜過去2, 3号児申請者合計数＞

R3年度	464
R4年度	436
R5年度	372

＜1号児新規内定者数＞

平松こども園	10
光星学園 三雲幼稚園	31
京進のこどもえん HOPPA石部	26
阿星あかつき 保育園	6
菩提寺くじら こども園	4
優愛保育園 モンチ	0
光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	10
岩根こども園	3
光星学園認定こども園 水戸幼稚園	18
下田こども園	0
合計	108

＜参考＞

		合計者数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保 育 園	三雲くじら保育園	42	12	16	5	6	1	2
	甲西あかつき保育園	17	8	4	2	2	1	0
	あしほ乳児保育園	4	2	2	0	0	0	0
	石部保育園	20	8	7	1	3	1	0
	京進のほいくえん HOPPA菩提寺西	19	6	8	3	2	0	0
	京進のほいくえん HOPPA湖南水戸	28	12	5	3	8	0	0
	しおん園	7	5	1	0	1	0	0
こ ど も 園	平松こども園	41	15	13	5	7	1	0
	阿星あかつき保育園	18	11	5	2	0	0	0
	菩提寺くじらこども園	30	7	11	4	7	0	1
	優愛保育園モンチ	16	4	7	1	3	0	1
	光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	1	0	0	0	1	0	0
	岩根こども園	13	4	3	1	5	0	0
	光星学園認定こども園 水戸幼稚園	12	2	4	4	2	0	0
	京進のこどもえん HOPPA石部(新)	20	7	2	5	5	1	0
	下田こども園	26	7	8	6	5	0	0
小 規 模 園	京進のほいくえん HOPPA甲西駅園	4	4	0	0	0	0	0
	サンライズキッズ保育園 湖南石部園	4	4	0	0	0	0	0
	京進のほいくえん HOPPA湖南岩根園	0	0	0	0	0	0	0
	あったか保育室 つぼみ	1	1	0	0	0	0	0
	合計	323	119	96	42	57	5	4

令和5年度入所資料(一次調整分)

<申請者数>

新規申請者数	351名	転園希望64名・広域11名 415名・426名
合計	351名	

<利用調整内訳>

入所内定者数	360名
辞退者数	21名
保留者数	21名
育休延長希望者数	13名
待機児童数	0名
合計	415名

保留・・・特定園希望園のみの申請の方(待機児童に入らない)

	内定者数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
三雲くじら保育園	26	15	10	7	8	0	0
平松こども園	35	9	8	2	5	3	0
甲西あかつき保育園	21	8	5	2	2	1	0
あしほ乳児保育園	13	7	4	4	0	0	0
石部保育園	43	9	7	4	3	0	2
阿星あかつき保育園	31	10	7	5	5	0	1
菩提寺くじらこども園	32	5	4	8	4	1	1
京進のほいくえん HOPPA菩提寺西園	20	4	8	1	0	0	0
優愛保育園モンチ	16	5	6	0	0	0	0
光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	5	0	0	0	6	0	0
岩根保育園	23	6	4	8	7	1	0
京進のほいくえん HOPPA湖南水戸園	27	7	5	4	4	0	1
光星学園認定こども園 水戸幼稚園	23	2	7	4	4	0	1
しおん園	8	8	3	0	1	0	0
下田こども園	19	6	4	6	7	0	0
京進のほいくえん HOPPA甲西駅園	8	5	2	2	0	0	0
サンライズキッズ保育園 湖南石部園	12	3	3	2	0	0	0
京進のほいくえん HOPPA湖南岩根園	6	2	1	0	0	0	0
あったか保育園 つぼみ	3	0	1	1	0	0	0
計	371	111	89	60	56	6	6

※うち広域11名

<参考> R3年12月時点

定員数	在園数
160	150
185	175
90	94
30	26
130	115
110	110
140	136
70	76
75	82
170	119
160	104
110	87
194	190
60	58
150	154
19	19
19	20
19	20
5	5
1896	1740

令和5年度入所資料(一次調整分)

<申請者数>

新規申請者数	421名
合計	421名

<利用調整内訳>

入所内定者数	366名
辞退者数	21名
保留者数	21名
育休延長希望者数	13名
待機児童数	0名
合計	421名

保留・・・特定園希望園のみの申請の方(待機児童に入らない)

	内定者数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
三雲くじら保育園	26						
平松こども園	35						
甲西あかつき保育園	21						
あしほ乳児保育園	13						
石部保育園	41						
阿星あかつき保育園	31						
菩提寺くじらこども園	31						
京進のほいくえん HOPPA菩提寺西園	20						
優愛保育園モンチ	15						
光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	5						
岩根保育園	23						
京進のほいくえん HOPPA湖南水戸園	27						
光星学園認定こども園 水戸幼稚園	23						
しおん園	7						
下田こども園	19						
京進のほいくえん HOPPA甲西駅園	8						
サンライズキッズ保育園 湖南石部園	12						
京進のほいくえん HOPPA湖南岩根園	6						
あったか保育園 つぼみ	3						
計	366	0	0	0	0	0	0

令和4年度入所資料(一次調整分)

<申請者数>

新規申請者数	403名
合計	403名

<利用調整内訳>

入所内定者数	328名
辞退者数	33名
保留者数	15名
育休延長希望者数	27名
待機児童数	0名
合計	403名

保留・・・特定園希望園のみの申請の方(待機児童に入らない)

	内定者数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
三雲くじら保育園	40	15	10	7	8	0	0
平松こども園	27	9	8	2	5	3	0
甲西あかつき保育園	18	8	5	2	2	1	0
あしほ乳児保育園	15	7	4	4	0	0	0
石部保育園	25	9	7	4	3	0	2
阿星あかつき保育園	28	10	7	5	5	0	1
菩提寺くじらこども園	23	5	4	8	4	1	1
京進のほいくえん HOPPA菩提寺西園	13	4	8	1	0	0	0
優愛保育園モンチ	11	5	6	0	0	0	0
光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	6	0	0	0	6	0	0
岩根保育園	26	6	4	8	7	1	0
京進のほいくえん HOPPA湖南水戸園	21	7	5	4	4	0	1
光星学園認定こども園 水戸幼稚園	18	2	7	4	4	0	1
しおん園	12	8	3	0	1	0	0
下田こども園	23	6	4	6	7	0	0
京進のほいくえん HOPPA甲西駅園	9	5	2	2	0	0	0
サンライズキッズ保育園 湖南石部園	8	3	3	2	0	0	0
京進のほいくえん HOPPA湖南岩根園	3	2	1	0	0	0	0
あったか保育園 つぼみ	2	0	1	1	0	0	0
計	328	111	89	60	56	6	6

<参考> R3年12月時点

定員数	在園数
160	150
185	175
90	94
30	26
130	115
110	110
140	136
70	76
75	82
170	119
160	104
110	87
194	190
60	58
150	154
19	19
19	20
19	20
5	5
1896	1740

令和4年度入所資料(一次調整分)

<参考> R3年12月時点

<申請者数>

新規申請者数	403
合計	403

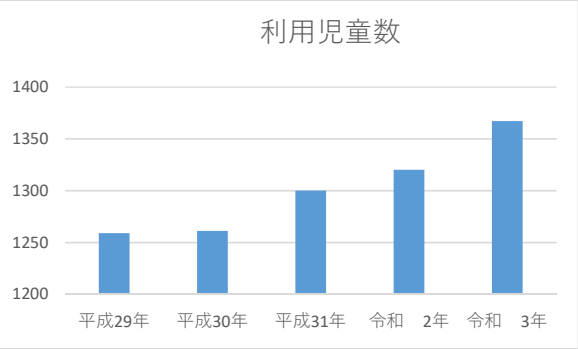
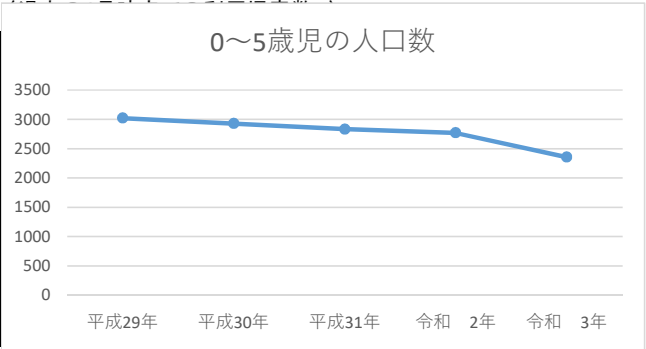
<利用調整内訳>

入所内定者数	328
辞退者数	33
保留者数	15
育休延長希望者数	27
待機児童数	0
合計	403

保留・・・特定園希望園のみの申請の方(待機児童に入らない)

	内定者数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
三雲くじら保育園	40	15	10	7	8	0	0
平松こども園	27	9	8	2	5	3	0
甲西あかつき保育園	18	8	5	2	2	1	0
あしほ乳児保育園	15	7	4	4	0	0	0
石部保育園	25	9	7	4	3	0	2
阿星あかつき保育園	28	10	7	5	5	0	1
菩提寺くじらこども園	23	5	4	8	4	1	1
京進のほいくえん HOPPA菩提寺西園	13	4	8	1	0	0	0
優愛保育園モンチ	11	5	6	0	0	0	0
光星学園認定こども園 ひかり幼稚園	6	0	0	0	6	0	0
岩根保育園	26	6	4	8	7	1	0
京進のほいくえん HOPPA湖南水戸園	21	7	5	4	4	0	1
光星学園認定こども園 水戸幼稚園	18	2	7	4	4	0	1
しおん園	12	8	3	0	1	0	0
下田こども園	23	6	4	6	7	0	0
京進のほいくえん HOPPA甲西駅園	9	5	2	2	0	0	0
サンライズキッズ保育園 湖南石部園	8	3	3	2	0	0	0
京進のほいくえん HOPPA湖南岩根園	3	2	1	0	0	0	0
あったか保育園 つぼみ	2	0	1	1	0	0	0
計	328	111	89	60	56	6	6

定員数	在園数
160	150
185	175
90	94
30	26
130	115
110	110
140	136
70	76
75	82
170	119
160	104
110	87
194	190
60	58
150	154
19	19
19	20
19	20
5	5
1896	1740



令和5年度 子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査及び生活実態調査概要

	対象者		調査票の種類		調査方法	実施主体			
						発送	回答受付	郵送回答打込	集計
保護者票	未就学児保護者	対象児童のいる全世帯（複数児童いる場合はいずれかでも可）	A票	子育て支援に関するニーズ調査（未就学児保護者）	発送:郵送 回答:インターネット	湖南省	湖南省	-	委託業者
	小学生保護者（1～3年生）		B票	子育て支援に関するニーズ調査（小学生保護者）	発送:学校配布 回答:インターネットまたは郵送または学校経由で提出	湖南省	湖南省	湖南省	委託業者
	【訪問対象クラス】小学生保護者（4～5年生）		B票	子育て支援に関するニーズ調査（小学生保護者）		湖南省	湖南省	湖南省	委託業者
	小学生保護者（6年生）		B票	子育て支援に関するニーズ調査（小学生保護者）		湖南省	湖南省	湖南省	委託業者
	中学生保護者（1～2年生）		C票	子育て世帯生活実態調査		湖南省	湖南省	湖南省	委託業者
こども票	小学生（4～5年生）	9校（1,006人）	D票	こどもの生活実態調査	学校でインターネット回答	湖南省	湖南省	-	委託業者
	中学生（1～2年生）	4校（970人）	D票	こどもの生活実態調査	学校でインターネット回答	湖南省	湖南省	-	委託業者

A票 子育て支援に関するニーズ調査＜未就学児保護者用＞

(調査の目的)

第3期子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の施設や人材、サービスなどの「量の見込み」を湖南省が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するためにアンケート調査を実施します。

家族構成などについておたずねします。

Q1 どちらの区にお住まいですか。区名をご記入ください。

(区)

Q2 宛名のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。

生年月： □□□□年□□月生れ

Q3 世帯の人数と末のお子さん(お子さんが1人の場合はそのお子さん)の年齢をご記入ください。

世帯人数： 人(うち18歳までのお子さん： 人)

末子の年齢： 歳(または0歳 か月)

Q4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか(お子さんからみた続柄)。

① 母

② 父

③ そのほか()

Q5 ご回答いただいている方はご結婚されていますか(事実婚のパートナーも含みます)。

① はい

② いいえ

Q6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

① 父母ともに

② 母

③ 父

④ 祖父母

⑤ そのほか()

Q7 ご家庭ではどれくらい日本語を使っていますか。

- ① 日本語だけを使っている
- ② 日本語以外の言語も使っているが、日本語のほうが多い
- ③ 日本語以外の言語を使うことが多い

子育てをめぐる環境についておたずねします。

Q8 日頃、お子さんを預かってもらえる**祖父母や親せき、知人**はいますか(いくつでも)。

- ① 同居の祖父母に、日常的に預かってもらえる
- ② 同居の祖父母に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ③ 同居していない祖父母に、日常的に預かってもらえる
- ④ 同居していない祖父母に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ⑤ 親せきに、いつでも預かってもらえる
- ⑥ 親せきに、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ⑦ 友人・知人に、いつでも預かってもらえる
- ⑧ 友人・知人に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ⑨ 子どもを預かってくれる人は誰もいない

Q9 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

- ① はい (Q9-1 へ)
- ② いいえ (Q9-2 へ)

Q9-1 どのような人(場所)に相談していますか(いくつでも)。

- ① 祖父母 ② 親せき ③ 友人や知人 ④ 近所の人
- ⑤ 子育て支援施設(子育て支援センター、つどいの広場等) ⑥ 発達支援室
- ⑦ 保健センター ⑧ 保育士・幼稚園教諭 ⑨ 民生委員児童委員・主任児童委員
- ⑩ かかりつけの病院 ⑪ 市役所 ⑫ そのほか()

Q9-2 相談できる人や場所がないのはなぜですか(いくつでも)。

- ① 人づきあいが苦手だから
- ② 外に出るのが好きではないから
- ③ 他人に子どものことをあれこれ言われたくないから
- ④ 誰に相談していいかわからないから
- ⑤ 相談しても仕方がないと思うから
- ⑥ 相談窓口まで行きにくいから(場所や雰囲気など)

Q10 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか(いくつでも)。

- ① 身近な場での相談窓口 ② 専門的な情報 ③ 職員の対応スキル
- ④ 関係機関等へのつながり ⑤ 安心して相談できる環境(保育室、プライバシーの配慮等)
- ⑥ そのほか()

Q11 子育てに限らずお考えください。この 1 か月あなたの気持ちはどのようなでしたか。最も多く感じた気持ちを選んでください。

- ① やる気に満ちていた ② しあわせな気持ちだった ③ 気分が沈みこんでいた
- ④ イライラしていた ⑤ 何もする気が起きなかった ⑥ 落ち着かなく感じた
- ⑦ 孤独を感じた

家庭の経済状況についておたずねします。

Q12 保護者の方の現在の就労状況は、次のどれにあてはまりますか。産前産後休暇、育児休業、介護休業に入っている方は、休業に入る前の状況でお答えください。

(1) 母	(2) 父
1. 正社員 (Q12-1 へ)	1. 正社員 (Q12-1 へ)
2. 正社員以外(パート、アルバイト等) (Q12-1 へ)	2. 正社員以外(パート、アルバイト等) (Q12-1 へ)
3. 自営業 (Q12-1 へ)	3. 自営業 (Q12-1 へ)
4. 専業主婦 (Q12-3 へ)	4. 専業主夫 (Q12-3 へ)

Q12-1 専業主婦・主夫以外の方(Q12 で1～3に○)におたずねします。普段の勤務時間はどのくらいですか。もっとも多いパターンでお答えください。休業中の方は休業前の状況をお答えください。

(1) 母	(2) 父
①1週あたり : □日	①1週あたり : □日
②1日あたり : □□時間	②1日あたり : □□時間

Q12-2 専業主婦・主夫以外の方(Q12 で1～3に○)におたずねします。今後、転職や退職の希望はありますか。

(1) 母	(2) 父
1. 特にない(現在の就労スタイルを続けたい)	1. 特にない(現在の就労スタイルを続けたい)
2. フルタイム(※)への転職希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイム(※)への転職希望があり、実現できる見込みがある
3. フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない	3. フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない
4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある	4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある
5. パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある	5. パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある
6. 仕事をやめて、子育てや家事に専念したい	6. 仕事をやめて、子育てや家事に専念したい

※フルタイム:週5日、1日8時間程度(休憩時間を除く)の就労

Q12-3 専業主婦・主夫の方(Q12 で4に○)におたずねします。今後、就労したいという希望はありますか。

(1)母	(2)父
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. フルタイム(※)への就労希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイム(※)への就労希望があり、実現できる見込みがある
3. フルタイムへの就労希望があるが、実現できる見込みはない	3. フルタイムへの就労希望があるが、実現できる見込みはない
4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある	4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある
5. . パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある	5. . パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある

Q12-4 専業主婦・主夫の方(Q12で4に○)におたずねします。働いていない最も主な理由を教えてください(あてはまるもの1つに○)。

	母	父
働きたいが、希望する条件の仕事がないため		
子育てを優先するため		
家族の介護や介助のため		
自分の病気や障がいのため		
通学しているため		
そのほか()		

Q13 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

- ① 大変ゆとりがある
- ② ゆとりがある
- ③ ふつう
- ④ 苦しい
- ⑤ 大変苦しい

Q14 世帯全員の年間収入(税金などを引かれる前の金額)は合計でいくらですか。同居し、生計を同一にしている家族全員の収入についてお答えください(収入には、給与のほか、公的年金、児童手当等の諸手当、家賃収入、仕送りなども含みます)。

- ① 130 万円未満
- ② 130～200 万円未満
- ③ 200～300 万円未満
- ④ 300～400 万円未満
- ⑤ 400～500 万円未満
- ⑥ 500～700 万円未満
- ⑦ 700～900 万円未満
- ⑧ 900 万円以上
- ⑨ わからない

Q15 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまで利用したことがありますか(いくつでも)。

- ① 就学援助
- ② 生活保護
- ③ 生活困窮者の自立支援相談窓口
- ④ 児童扶養手当
- ⑤ 母子・父子・寡婦福祉資金貸付
- ⑥ 利用したことがない (Q15-1 へ)

Q15-1 利用したことがない理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 収入等の要件が合わないから
- ② 特に利用したいと思わないから
- ③ 今まで支援制度があることを知らなかったから
- ④ 利用したいが手続きがわからなかったり、難しかったりするから
- ⑤ そのほか()

平日の教育・保育の利用などについておたずねします。

Q16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園(所)などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

- ① 利用している (Q16-1 へ)
- ② 利用していない (Q16-2 へ)

Q16-1 利用している方におたずねします。平日はどのような事業を利用していますか(いくつでも)。

1. 幼稚園 (朝 9 時から 14 時までの利用)	6. その他の認可外の保育施設
2. 幼稚園の預かり保育 (14 時以降の利用) ※この場合は、1 にも○をしてください	7. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
3. 認可保育園 (所)	8. ファミリー・サポート・センター (育児の援助を受けたい依頼者と、育児の援助をしたい援助者が登録し、会員同士が地域の中で子どもの世話を一時的に有料で援助し合う組織)
4. 認定こども園 (就労等の有無にかかわらず子どもを預けられる幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。幼保連携型、幼稚園型、保育所型がある。)	9. 児童発達支援 (ぞうさん教室) 等
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	10. その他 ()

Q16-2 利用していない方におたずねします。利用していない理由は何ですか。

- ① 子どもの祖父母や親せきの人がみているため
- ② 近所の人や父母の友人・知人がみている
- ③ 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- ④ 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- ⑤ 利用したいが、時間帯の条件が合わない
- ⑥ 利用したいが、質や場所など、納得できる事業がない
- ⑦ 利用したいが、子どもに障がいがある
- ⑧ 子どもがまだ小さいため⇒□歳くらいになったら利用したい
- ⑨ その他()

Q17 すべての方におたずねします。現在の利用状況にかかわらず、今後、平日に「定期的」に利用したいと思われるのはどの事業ですか(いくつでも)。

1. 幼稚園 (朝 9 時から 14 時頃までの利用)	7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
2. 幼稚園の預かり保育 (14 時以降の利用) ※この場合は、1 にも○を してください	8. その他の認可外の保育施設
3. 認可保育園 (所)	9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保 育する事業)
4. 認定こども園 (就労等の有無にかかわらず子どもを預けら れる幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。 幼保連携型、幼稚園型、保育所型がある。)	10. ファミリー・サポート・センター (育児の援助を受けたい依頼者と、育児の援助をしたい 援助者が登録し、会員同士が地域の中で子どもの世話を 一時的に有料で援助し合う組織)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村 の認可を受けた定員概ね 6 ～ 19 人のもの)	11. 児童発達支援 (ぞうさん教室) 等
6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育す る事業)	12. その他 ()

Q17-1 幼稚園の利用希望がある(Q17 で 1 または 2 に○)方におたずねします。就労形態等に関わらず、特に幼稚園(預かり保育をあわせて利用する場合も含む)の利用を強く希望しますか。

- ① はい
- ② いいえ

**お子さんの病気の際の対応についておたずねします。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

Q18 平日の「定期的な教育・保育の事業」(幼稚園、保育園など)を利用している方におたずねします。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- ① あった (Q18-1 へ)
- ② なかった (Q19 へ)

Q18-1 病気やケガで利用できなかった方におたずねします。その際、どのように対処されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ① 母親が休んだ
- ② 父親が休んだ
- ③ 就労していない保護者が子どもをみた
- ④ 同居している祖父母に子どもをみてもらった
- ⑤ 同居していない祖父母に子どもをみてもらった
- ⑥ 親せき・知人に子どもをみてもらった
- ⑦ 病児・病後児保育(たち、かんがる〜)を利用した
- ⑧ ベビーシッターを利用した
- ⑨ ファミリー・サポート・センターを利用した
- ⑩ 仕方なく子どもだけで留守番させた
- ⑪ そのほか()

Q19 今後、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できない時には、病児・病後児保育を利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

- ① そう思う (Q19-1 へ)
- ② そう思わない (Q22 へ)

Q19-1 可能であれば湖南市だけでなく、他市町の病児・病後児保育も利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

- ① そう思う
- ② そう思わない
- ③ わからない

地域の子育て支援事業の利用などについておたずねします。

Q20 市内の「つどいの広場」や「子育て支援センター」を利用したことはありますか。

- ① つどいの広場を利用したことがある
- ② 子育て支援センターを利用したことがある
- ③ つどいの広場も子育て支援センターも利用したことがある
- ④ つどいの広場も子育て支援センターも利用したことがない

Q20-1 今後「つどいの広場」や「子育て支援センター」を利用したいと思いますか。利用している方は日数を増やしたいと思いますか。どちらも利用したいと思われる方は①と②にそれぞれご記入ください。

- ① つどいの広場を利用したい 1か月あたり 回
- ② 子育て支援センターを利用したい 1か月あたり 回
- ③ どちらも利用したいと思わない

つどいの広場とは…

子育て親子が気軽に集まり、交流したり、相談したり、いっしょにイベントを楽しんだりする場所のことです。

- ◆つどいの広場おおぞら 湖南市三雲2030-67 火～土曜日(9:00～14:00)
- ◆つどいの広場こなんこ広場 湖南市石部中央6-1-31 月曜日・水～土曜日(10:00～15:00)
- ◆つどいの広場くまさんとクラブ 湖南市菩提寺東3-8-8 月～金曜日(10:00～15:00)
- ◆つどいの広場すくすく 湖南市西峰町1-1 火～土曜日(10:00～15:00)

子育て支援センターとは…

市内在住の未就園児とその保護者を対象として、親子で楽しく遊ぶ場や子育てに関する情報を提供したり、子育てのちょっとした悩み等をお互いに話し合ったり相談したりできる場所のことです。

- ◆石部子育て支援センターたんぽぽはうす(石部保育園内) 月～金曜日(祝日・年末年始除く)9:30～11:45
- ◆子育て支援センターひまわり(岩根こども園内) 月～金曜日(祝日・年末年始除く)9:30～11:45、13:00～15:45

Q21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものにそれぞれ○をつけてください(いくつでも)。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
① ママ・パパ教室			
② 保健センター(情報・相談事業)			
③ 家庭教育に関する学級・講座			
④ 発達支援室			
⑤ 保育園や幼稚園の園庭開放			
⑥ 子ども家庭総合センター			
⑦ こなんし子育てガイドブック			
⑧ 親子プレイステーション			
⑨ 図書館			
⑩ まちづくりセンター			
⑪ 市内の子ども食堂			

不定期の教育・保育の利用などについておたずねします。

Q22 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、**不定期事業(一時預かり、幼稚園の預かり保育、ファミリー・サポート・センタートワイライトステイなど)**について、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- ① 利用したい (Q22-1 へ)
- ② 利用する必要はない (Q23 へ)

一時預かりとは・・・

不定期的な家庭の用事や就労、リフレッシュ目的で、家庭で保育する乳幼児を保育所等で一時的に預かる事業です。

幼稚園の預かり保育とは・・・

幼稚園の在園児を対象に、子育てや就労している家庭を支援するために時間を延長して一時的に預かる事業。

ファミリー・サポート・センターとは・・・

育児の援助を受けたい依頼者と、育児の援助をしたい援助者が登録し、会員同士が地域の中で子どもの世話を一時的に有料で援助し合う組織です。

トワイライトステイとは・・・

家庭での養育が困難になったときに、一時的に施設等で 18 歳未満の子どもを夜間預かる事業です。

Q22-1 利用したいと回答した方(Q23 で①に○)におたずねします。利用する目的と希望する年間の利用日数をお答えください。

- | | | |
|----------------------|----|--------|
| ① 私用(買い物、習い事)、リフレッシュ | 年間 | _____日 |
| ② 不定期の就労 | 年間 | _____日 |
| ③ 冠婚葬祭、子どもや親の通院 | 年間 | _____日 |
| ④ その他() | 年間 | _____日 |

Q23 お子さんについて、保護者の事情(育児疲れ、育児不安、病気、冠婚葬祭など)により、短期入所生活支援事業(ショートステイ)を利用する必要があると思いますか。

- ① あると思う (Q23-1 へ)
- ② ないと思う (Q24 へ)

ショートステイとは…

児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業のことです。宿泊も可能。

Q23-1 利用する必要があると思われる方(Q23 で①に○)におたずねします。ショートステイの利用目的と希望する年間利用日数(泊数)をお答えください。

- | | | |
|-----------------------------|----|-----------------|
| ① 保護者や家族の育児疲れ・不安 | 年間 | <u> </u> 泊 |
| ② 保護者や家族の病気 | 年間 | <u> </u> 泊 |
| ③ 冠婚葬祭 | 年間 | <u> </u> 泊 |
| ④ その他() | 年間 | <u> </u> 泊 |

宛名のお子さんが小学校に就学された後の放課後や長期休暇中の過ごし方についておたずねします。

Q24 小学校入学後平日の放課後に、学童保育所等の預かり事業を利用する見込みはありますか。

- ① 利用する見込みがある (Q24-1 へ)
② 利用する見込みはない (Q26 へ)

Q24-1 学童保育所等の預かり事業を利用する見込みがある方(Q24で①に○)におたずねします。
利用を希望する期間についてお答えください。

- ① 放課後児童クラブ(学童保育所) _____年生まで利用したい
② ファミリー・サポート・センター _____年生まで利用したい
③ 長期休暇中のこどもの居場所 _____年生まで利用したい
④ そのほか(事業名: _____) _____年生まで利用したい

こどもの居場所とは…

大人の見守りがあって、子どもが自由に過ごせる児童館のような場所のことを言います。

Q25 平日に放課後児童クラブ(学童保育所)を利用したい方におたずねします。土曜日と日曜・祝日、長期休暇中に利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○印をつけて、□内に時間帯を記入してください。時間は24時間制でご記入ください(例:08時、18時 等)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1)土曜日

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯
□□時□□分～□□時□□分 |
| 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | | |
| 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | | |

(2)日曜・祝日

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯
□□時□□分～□□時□□分 |
| 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | | |
| 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | | |

(3)夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯
□□時□□分～□□時□□分 |
| 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | | |
| 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | | |

Q26 どのような場所に放課後児童クラブ(学童保育所)があればよいと思いますか(いくつでも)。

- ① 学校の敷地内
- ② 学校の敷地外で、学校から近い場所
- ③ 学校以外の公共施設
- ④ 通えればどこでも構わない

Q26-1 なぜその場所にあると良いと思うのか、理由を選んでください(いくつでも)。

- ① 安全だと思うから
- ② 送迎がしやすいから
- ③ 子どもが過ごしやすいと思うから
- ④ 子どもの移動が少なくて済むから
- ⑤ そのほか()

Q27 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中、大人の見守りがあって子どもが自由に過ごせる場所(こどもの居場所)を新たに設置するなら、どのような場所にあるといいと思いますか(いくつでも)。

- ① 児童館(移動児童館を含む)
- ② まちづくりセンター、自治会館・公民館、会館
- ③ 図書館
- ④ 保健センター
- ⑤ 子ども食堂
- ⑥ 地域の人などが行う勉強会・サロン
- ⑦ カフェなどのお店
- ⑧ ショッピングセンター
- ⑨ そのほか()

子育て全般についておたずねします。

Q28 児童手当などの諸手当の申請や、入園・入所の制度の申請について、どのような方法で申請したいと思いますか(いくつでも)。

- ① 市役所の窓口で申請したい
- ② マイナンバーを使って電子申請をしたい
- ③ マイナンバーを使わない方法で電子申請をしたい
- ④ 市役所の窓口でタブレットなどの端末を使って申請したい
- ⑤ そのほか()

Q29 あなたの家族の近所づきあいはどの程度ですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① まったく付き合いがない
- ② あいさつをする程度
- ③ お互いの家を行き来している
- ④ 困りごとや悩みを相談できる

Q30 地域の活動や地域でのイベント等に参加していますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① よく参加している (Q31 へ)
- ② 時々参加している (Q31 へ)
- ③ ほとんど参加していない (Q30-1 へ)
- ④ まったく参加していない (Q30-1 へ)

Q30-1 地域活動等へ参加をしていない方(Q30 で③④に○)におたずねします。地域の活動やイベントに参加しない理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 仕事等で忙しく予定が合わない
- ② 自治会に入っていないので情報は入って来ない
- ③ 関心のある活動やイベントがない
- ④ あまり地域の人や活動に関わりたくない
- ⑤ 参加するために費用がかかるから
- ⑥ 体調が良くない

Q31 湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてどのように思われますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① 大変満足している
- ② 満足している
- ③ ふつう
- ④ 不満である (Q31-1 へ)
- ⑤ 大変不満である (Q31-1 へ)

Q31-1 湖南省の子育て環境に不満を感じている方(Q31 で④⑤に○)におたずねします。その理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 希望する保育園(所)、幼稚園、認定こども園に入れないから
- ② 通っている保育園(所)、幼稚園、認定こども園の環境が悪いから
- ② 子育てに関する相談窓口があまりないと思うから
- ③ 子育てサークルや親子の集いの場があまりないと思うから
- ④ 子どもを遊ばせる場所が少ないから
- ⑤ 子育て世帯に対する経済的な補助が少ないから
- ⑥ ワーク・ライフ・バランスが推進されていないと思うから
- ⑦ そのほか()

Q32 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

2月13日(火曜日)までに

インターネットからご回答ください。

B 票 子育て支援に関するニーズ調査＜小学生保護者用＞

(調査の目的)

第3期子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の施設や人材、サービスなどの「量の見込み」を湖南省が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するためにアンケート調査を実施します。

※調査票を持って帰ってきたお子さんについてご回答ください。

※お子さんが複数おられる場合は、いずれかのお子さんの分についてのご回答でも結構です。

あなたの ID: _____ (調査票の入っていた封筒に記載のある番号をご記入ください)

家族構成などについておたずねします。

Q1 お住まいの小学校区はどちらですか。

- ① 三雲東小学校区 ② 三雲小学校区 ③ 石部小学校区
④ 石部南小学校区 ⑤ 岩根小学校区 ⑥ 菩提寺小学校区
⑦ 菩提寺北小学校区 ⑧ 下田小学校区 ⑨ 水戸小学校区

Q2 お子さんの生年月と学年をご記入ください。

生年月: □□□□年□□月生れ(□年生)

Q3 世帯の人数と末のお子さん(お子さんが 1 人の場合はそのお子さん)の年齢をご記入ください。

世帯人数: 人(うち 18 歳までのお子さん: 人)

末子の年齢: 歳(または 0 歳 か月)

Q4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか(お子さんからみた続柄)。

- ① 母
② 父
③ そのほか()

Q5 ご回答いただいている方はご結婚されていますか(事実婚のパートナーも含みます)。

- ① はい
② いいえ

Q6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

- ① 父母ともに
- ② 母
- ③ 父
- ④ 祖父母
- ⑤ そのほか()

Q7 ご家庭ではどれくらい日本語を使っていますか。

- ① 日本語だけを使っている
- ② 日本語以外の言語も使っているが、日本語のほうが多い
- ③ 日本語以外の言語を使うことが多い

子育てをめぐる環境についておたずねします。

Q8 日頃、お子さんを預かってもらえる**祖父母や親せき、知人**はいますか(いくつでも)。

- ① 同居の祖父母に、日常的に預かってもらえる
- ② 同居の祖父母に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ③ 同居していない祖父母に、日常的に預かってもらえる
- ④ 同居していない祖父母に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ⑤ 親せきに、いつでも預かってもらえる
- ⑥ 親せきに、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ⑦ 友人・知人に、いつでも預かってもらえる
- ⑧ 友人・知人に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる
- ⑨ 子どもを預かってくれる人は誰もいない

Q9 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

- ① **はい** (Q9-1 へ)
- ② **いいえ** (Q9-2 へ)

Q9-1 どのような人(場所)に相談していますか(いくつでも)。

- ① **祖父母** ② **親せき** ③ 友人や知人 ④ 近所の人
- ⑤ 子育て支援施設(子ども家庭総合センター、子育て支援センター、つどいの広場等)
- ⑥ 発達支援室 ⑦ 保健センター ⑧ 学校
- ⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所) ⑩ 民生委員児童委員・主任児童委員
- ⑪ かかりつけの病院 ⑫ 市役所 ⑬ そのほか()

Q9-2 相談できる人や場所がないのはなぜですか(いくつでも)。

- ① **人づきあいが苦手だから**
- ② **外に出るのが好きではないから**
- ③ **他人に子どものことをあれこれ言われたくないから**
- ④ **誰に相談していいかわからないから**
- ⑤ **相談しても仕方がないと思うから**
- ⑥ **相談窓口まで行きにくいから(場所や雰囲気など)**

Q10 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか(いくつでも)。

- ① 身近な場での相談窓口 ② 専門的な情報 ③ 職員の対応スキル
- ④ 関係機関等へのつながり ⑤ 安心して相談できる環境(保育室、プライバシーの配慮等)
- ⑥ そのほか()

Q11 **子育てに限らずお考えください。**この 1 か月のあなたの気持ちはどのようでしたか。最も多く感じた気持ちを選んでください。

- ① やる気に満ちていた ② しあわせな気持ちだった ③ 気分が沈みこんでいた
④ イライラしていた ⑤ 何もする気が起きなかった ⑥ 落ち着かなく感じた
⑦ 孤独を感じた

Q12 現実的に見てお子さんの最終学歴はどの学校になると思いますか。

- ① 中学
- ② 高校
- ③ 大学
- ④ 専門学校
- ⑤ まだわからない

Q12-1 そう思われる理由はなんですか(いくつでも)。

- ① お子さんがそう希望しているから
- ② 一般的な進路だと思うから
- ③ お子さんの学力から考えて
- ④ 家庭の経済状況から考えて
- ⑤ 特に理由はない
- ⑥ そのほか()

家庭の経済状況についておたずねします。

Q13 保護者の方の現在の就労状況は、次のどれにあてはまりますか。産前産後休暇、育児休業、介護休業に入っている方は、休業に入る前の状況でお答えください。

(1) 母	(2) 父
1. 正社員 (Q13-1 へ)	1. 正社員 (Q13-1 へ)
2. 正社員以外(パート、アルバイト等) (Q13-1 へ)	2. 正社員以外(パート、アルバイト等) (Q13-1 へ)
3. 自営業 (Q13-1 へ)	3. 自営業 (Q13-1 へ)
4. 専業主婦 (Q13-3 へ)	4. 専業主夫 (Q13-3 へ)

Q13-1 専業主婦・主夫以外の方(Q13 で1～3に○)におたずねします。普段の勤務時間はどのくらいですか。もっとも多いパターンでお答えください。休業中の方は休業前の状況をお答えください。

(1) 母	(2) 父
①1週あたり : □日	①1週あたり : □日
②1日あたり : □□時間	②1日あたり : □□時間

Q13-2 専業主婦・主夫以外の方(Q13 で1～3に○)におたずねします。今後、転職や退職の希望はありますか。

(1) 母	(2) 父
1. 特にない(現在の就労スタイルを続けたい)	1. 特にない(現在の就労スタイルを続けたい)
2. フルタイム(※)への転職希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイム(※)への転職希望があり、実現できる見込みがある
3. フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない	3. フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない
4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある	4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある
5. パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある	5. パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある
6. 仕事をやめて、子育てや家事に専念したい	6. 仕事をやめて、子育てや家事に専念したい

※フルタイム:週5日、1日8時間程度(休憩時間を除く)の就労

Q13-3 専業主婦・主夫の方(Q13 で4に○)におたずねします。今後、就労したいという希望はありますか。

(1)母	(2)父
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. フルタイム(※)への就労希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイム(※)への就労希望があり、実現できる見込みがある
3. フルタイムへの就労希望があるが、実現できる見込みはない	3. フルタイムへの就労希望があるが、実現できる見込みはない
4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある	4. パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への転職希望がある
5. . パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある	5. . パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への転職希望がある

Q13-4 専業主婦・主夫の方(Q12で4に○)におたずねします。働いていない最も主な理由を教えてください(あてはまるもの1つに○)。

	母	父
働きたいが、希望する条件の仕事がないため		
子育て・教育を優先するため		
家族の介護や介助のため		
自分の病気や障がいのため		
通学しているため		
そのほか()		

Q14 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

- ① 大変ゆとりがある
- ② ゆとりがある
- ③ ふつう
- ④ 苦しい
- ⑤ 大変苦しい

Q15 世帯全員の年間収入(税金などを引かれる前の金額)は合計でいくらですか。同居し、生計を同一にしている家族全員の収入についてお答えください(収入には、給与のほか、公的年金、児童手当等の諸手当、家賃収入、仕送りなども含みます)。

- ① 130 万円未満
- ② 130～200 万円未満
- ③ 200～300 万円未満
- ④ 300～400 万円未満
- ⑤ 400～500 万円未満
- ⑥ 500～700 万円未満
- ⑦ 700～900 万円未満
- ⑧ 900 万円以上
- ⑨ わからない

Q16 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまで利用したことがありますか。

- ① 就学援助
- ② 生活保護
- ③ 生活困窮者の自立支援相談窓口
- ④ 児童扶養手当
- ⑤ 母子・父子・寡婦福祉資金貸付
- ⑥ 利用したことがない (Q16-1 へ)

Q16-1 利用したことがない理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 収入等の要件が合わないから
- ② 特に利用したいと思わないから
- ③ 今まで支援制度があることを知らなかったから
- ④ 利用したいが手続きがわからなかったり、難しかったりするから
- ⑤ そのほか()

放課後や長期休暇中の過ごし方についておたずねします。

Q17 平日の放課後に、学童保育所等の預かり事業を利用していますか。

- ① 利用している (Q17-1 へ)
- ② 利用していない (Q18 へ)

Q17-1 利用している方(Q17 で①に○)におたずねします。どのようなサービスを利用していますか。

- ① 放課後児童クラブ(学童保育所)
- ② ファミリー・サポート・センター
- ③ そのほか(事業名:)

Q18 今後放課後に、学童保育所等の預かり事業を利用(継続)したいと思いますか。

- ① 利用したい
- ② 利用する必要はない

Q18-1 利用したいと回答した方(Q18 で①に○)におたずねします。利用を希望する期間についてお答えください。

- ① 放課後児童クラブ(学童保育所) _____年生まで利用したい
- ② ファミリー・サポート・センター _____年生まで利用したい
- ③ 長期休暇中のこどもの居場所 _____年生まで利用したい
- ④ そのほか(事業名:) _____年生まで利用したい

こどもの居場所とは・・・

大人の見守りがあって、子どもが自由に過ごせる児童館のような場所のことを言います。

Q19 放課後児童クラブ(学童保育所)を利用したいと回答した方(Q18 で①に○)におたずねします。お子さんについて、土曜日と日曜・祝日、長期休暇中に利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○印をつけて、□内に時間帯を記入してください。時間は 24 時間制でご記入ください(例:08 時、18 時 等)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1)土曜日

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯
□□時□□分～□□時□□分 |
| 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | | |
| 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯
□□時□□分～□□時□□分 |
| 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | | |
| 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | | |

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯
□□時□□分～□□時□□分 |
| 2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | | |
| 3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | | |

Q20 どのような場所に放課後児童クラブ(学童保育所)があればよいと思いますか(いくつでも)。

- ① 学校の敷地内
- ② 学校の敷地外で、学校から近い場所
- ③ 学校以外の公共施設
- ④ 通えればどこでも構わない

Q20-1 なぜその場所にあると良いと思うのか、理由を選んでください(いくつでも)。

- ① 安全だと思うから
- ② 送迎がしやすいから
- ③ 子どもが過ごしやすいと思うから
- ④ 子どもの移動が少なくて済むから
- ⑤ そのほか()

Q21 放課後の居場所について問題だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 特にない |
| 2. 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない |
| 3. 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない |
| 4. 体験活動の実施される回数が少ない |
| 5. 子どもが望むような体験活動が少ない |
| 6. 決められた体験活動が多く、子どもが自由に過ごせない |
| 7. 高学年の子どもが、参加しやすい(参加したくなる)活動が少ない |
| 8. スタッフの目が十分に行き届いていない |
| 9. スタッフと子どもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない |
| 10. 開設時間が短い |
| 11. 経済的負担(保険料・利用料など)がかかり過ぎる |
| 12. その他() |

Q22 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中、大人の見守りがあって子どもが自由に過ごせる場所(こどもの居場所)を新たに設置するなら、どのような場所にあるといいと思いますか(いくつでも)。

- ① 児童館(移動児童館を含む)
- ② まちづくりセンター、自治会館・公民館、会館
- ③ 図書館
- ④ 保健センター
- ⑤ 子ども食堂
- ⑥ 地域の人などが行う勉強会・サロン
- ⑦ カフェなどのお店
- ⑧ ショッピングセンター
- ⑨ そのほか()

お子さんの病気の際の対応についておたずねします。

Q23 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

- ① あった (Q23-1 へ)
- ② なかった (Q24 へ)

Q23-1 病気やケガで利用できなかった方におたずねします。その際、どのように対処されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ① 母親が休んだ
- ② 父親が休んだ
- ③ 就労していない保護者が子どもをみた
- ④ 同居している祖父母に子どもをみてもらった
- ⑤ 同居していない祖父母に子どもをみてもらった
- ⑥ 親せき・知人に子どもをみてもらった
- ⑦ 病児・病後児保育(たち、かんがる～)を利用した
- ⑧ ベビーシッターを利用した
- ⑨ ファミリー・サポート・センターを利用した
- ⑩ 仕方なく子どもだけで留守番させた
- ⑪ そのほか()

Q24 今後、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できない時には、病児・病後児保育を利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

- ① そう思う (Q24-1 へ)
- ② そう思わない (Q25 へ)

Q24-1 可能であれば湖南市だけでなく、他市町の病児・病後児保育も利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

- ① そう思う
- ② そう思わない
- ③ わからない

宿泊を伴う一時預かりなどについておたずねします。

Q25 お子さんについて、保護者の事情(育児疲れ、育児不安、病気、冠婚葬祭など)により、短期入所生活支援事業(ショートステイ)を利用する必要があると思いますか。

- ① あると思う (Q25-1 へ)
- ② ないと思う (Q26 へ)

ショートステイとは…

児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業のことです。宿泊も可能。

Q25-1 利用する必要があると思われる方(Q23 で①に○)におたずねします。ショートステイの利用目的と希望する年間利用日数(泊数)をお答えください。

- ① 保護者や家族の育児疲れ・不安 年間 泊
- ② 保護者や家族の病気 年間 泊
- ③ 冠婚葬祭 年間 泊
- ④ その他() 年間 泊

子育て全般についておたずねします。

Q26 児童手当などの諸手当の申請や、入所申込等の制度の申請について、どのような方法で申請したいと思いますか(いくつでも)。

- ① 市役所の窓口で申請したい
- ② マイナンバーを使って電子申請をしたい
- ③ マイナンバーを使わない方法で電子申請をしたい
- ④ 市役所の窓口でタブレットなどの端末を使って申請したい
- ⑤ そのほか()

Q27 あなたの家族の近所づきあいはどの程度ですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① まったく付き合いがない
- ② あいさつをする程度
- ③ お互いの家を行き来している
- ④ 困りごとや悩みを相談できる

Q28 地域の活動や地域でのイベント等に参加していますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① よく参加している (Q29 へ)
- ② 時々参加している (Q29 へ)
- ③ ほとんど参加していない (Q28-1 へ)
- ④ まったく参加していない (Q28-1 へ)

Q28-1 参加していない方(Q28 で③④に○)におたずねします。地域の活動やイベントに参加しない理由は何ですか(いくつでも)。

- ① 仕事等で忙しく予定が合わない
- ② 自治会に入っていないので情報は入って来ない
- ③ 関心のある活動やイベントがない
- ④ あまり地域の人や活動に関わりたくない
- ⑤ 参加するために費用がかかるから
- ⑥ 体調が良くない

Q29 湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてどのように思われますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① 大変満足している (Q30 へ)
- ② 満足している (Q30 へ)
- ③ ふつう (Q30 へ)
- ④ 不満である (Q29-1 へ)
- ⑤ 大変不満である (Q29-1 へ)

Q29-1 「不満である」または「大変不満である」を選んだ方(Q29 で④⑤)におたずねします。その理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 小学校の対応に不満があるから
- ② 放課後児童クラブ(学童保育所)の対応に不満があるから
- ③ 学童保育所が不足しているから
- ④ 子育てに関する相談窓口があまりないと思うから
- ⑤ 子育てサークルや親子の集いの場があまりないと思うから
- ⑥ 子どもを遊ばせる場所が少ないから
- ⑦ 子育て世帯に対する経済的な補助が少ないから
- ⑧ ワーク・ライフ・バランスが推進されていないと思うから
- ⑨ そのほか()

Q30 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

2月13日(火曜日)までに

回答はいずれかの方法をお願いします。

- ①WEBにより回答
- ②同封の返信封筒に入れて郵便ポストに投函
- ③同封の返信用封筒に入れて学校へ提出

C 票 子育て世帯生活実態調査＜中学生保護者用＞

(調査の目的)

世帯の状況にかかわらず、本市で育つすべての子どもたちが生きる力を備え、心豊かに未来を切り開いていけるよう支援するための計画を策定します。

この調査は、中学1年生・2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことについて伺い、子ども達や子育て世帯の状況を把握し、今後の市としての支援・施策に役立てることを目的として実施するものです。

※調査票を持って帰ってきたお子さんについてご回答ください。

※お子さんが複数おられる場合は、いずれかのお子さんの分についてのご回答でも結構です。

あなたの ID: _____ (調査票の入っていた封筒に記載のある番号をご記入ください)

家族構成などについておたずねします。

Q1 世帯の人数と末のお子さん(お子さんが1人の場合はそのお子さん)の年齢をご記入ください。

世帯人数: 人(うち18歳までのお子さん: 人)

末子の年齢: 歳(または0歳 か月)

Q2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか(お子さんからみた続柄)。

- ① 母
- ② 父
- ③ そのほか()

Q3 ご回答いただいている方はご結婚されていますか(事実婚のパートナーも含みます)。

- ① はい
- ② いいえ

Q4 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

- ① 父母ともに
- ② 母
- ③ 父
- ④ 祖父母
- ⑤ そのほか()

Q5 ご家庭ではどれくらい日本語を使っていますか。

- ① 日本語だけを使っている
- ② 日本語以外の言語も使っているが、日本語のほうが多い
- ③ 日本語以外の言語を使うことが多い

子育て・教育をめぐる環境についておたずねします。

Q6 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

- ① はい (Q6-1 へ)
- ② いいえ (Q6-2 へ)

Q6-1 どのような人(場所)に相談していますか(いくつでも)。

- ① 祖父母 ② 親せき ③ 友人や知人 ④ 近所の人
- ⑤ 子育て支援施設(子ども家庭総合センター、子育て支援センター、つどいの広場等)
- ⑥ 発達支援室 ⑦ 保健センター ⑧ 学校 ⑨ 少年センター
- ⑩ 民生委員児童委員・主任児童委員 ⑪ かかりつけの病院
- ⑫ 市役所 ⑬ そのほか()

Q6-2 相談できる人や場所がないのはなぜですか(いくつでも)。

- ① 人づきあいが苦手だから
- ② 外に出るのが好きではないから
- ③ 他人に子どものことをあれこれ言われたくないから
- ④ 誰に相談していいかわからないから
- ⑤ 相談しても仕方がないと思うから
- ⑥ 相談窓口まで行きにくいから(場所や雰囲気など)

Q7 子育て・教育に関する相談で充実してほしいことは何ですか(いくつでも)。

- ① 身近な場での相談窓口 ② 専門的な情報 ③ 職員の対応スキル
- ④ 関係機関等へのつながり ⑤ 安心して相談できる環境(プライバシーの配慮等)
- ⑥ 進学について気軽に相談できる窓口 ⑦ そのほか()

Q8 子育てに限らずお考えください。この1か月のあなたの気持ちはどのようなでしたか。最も多く感じた気持ちを選んでください。

- ① やる気に満ちていた ② しあわせな気持ちだった ③ 気分が沈みこんでいた
- ④ イライラしていた ⑤ 何もする気が起きなかった ⑥ 落ち着かなく感じた
- ⑦ 孤独を感じた

Q9 現実的に見てお子さんの最終学歴はどの学校になると思いますか。

- ① 中学
- ② 高校
- ③ 大学
- ④ 専門学校
- ⑤ まだわからない

Q9-1 そう思われる理由は何ですか(いくつでも)。

- ① お子さんがそう希望しているから
- ② 一般的な進路だと思うから
- ③ お子さんの学力から考えて
- ④ 家庭の経済状況から考えて
- ⑤ 特に理由はない
- ⑥ そのほか()

家庭の経済状況についておたずねします。

Q10 保護者の方の現在の就労状況は、次のどれにあてはまりますか。産前産後休暇、育児休業、介護休業に入っている方は、休業に入る前の状況でお答えください。

(1) 母	(2) 父
1. 正社員 (Q10-1 へ)	1. 正社員 (Q10-1 へ)
2. 正社員以外(パート、アルバイト等) (Q10-1 へ)	2. 正社員以外(パート、アルバイト等) (Q10-1 へ)
3. 自営業 (Q10-1 へ)	3. 自営業 (Q10-1 へ)
4. 専業主婦 (Q10-2 へ)	4. 専業主夫 (Q10-2 へ)

Q10-1 専業主婦・主夫以外の方(Q10 で1～3に○)におたずねします。普段の勤務時間はどのくらいですか。もっとも多いパターンでお答えください。休業中の方は休業前の状況をお答えください。

(1) 母	(2) 父
①1週あたり : □日	①1週あたり : □日
②1日あたり : □□時間	②1日あたり : □□時間

Q10-2 専業主婦・主夫の方(Q10 で4に○)におたずねします。働いていない最も主な理由を教えてください(あてはまるもの1つに○)。

	母	父
働きたいが、希望する条件の仕事がないため		
子育てや教育を優先するため		
家族の介護や介助のため		
自分の病気や障がいのため		
通学しているため		
そのほか()		

Q11 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

- ① 大変ゆとりがある
- ② ゆとりがある
- ③ ふつう
- ④ 苦しい
- ⑤ 大変苦しい

Q12 世帯全員の年間収入(税金などを引かれる前の金額)は合計でいくらですか。同居し、生計を同一にしている家族全員の収入についてお答えください(収入には、給与のほか、公的年金、児童手当等の諸手当、家賃収入、仕送りなども含みます)。

- ① 130 万円未満
- ② 130～200 万円未満
- ③ 200～300 万円未満
- ④ 300～400 万円未満
- ⑤ 400～500 万円未満
- ⑥ 500～700 万円未満
- ⑦ 700～900 万円未満
- ⑧ 900 万円以上
- ⑨ わからない

Q13 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまで利用したことがありますか。

- ① 就学援助
- ② 生活保護
- ③ 生活困窮者の自立支援相談窓口
- ④ 児童扶養手当
- ⑤ 母子・父子・寡婦福祉資金貸付
- ⑥ 利用したことがない (Q13-1 へ)

Q13-1 利用したことがない理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 収入等の要件が合わないから
- ② 特に利用したいと思わないから
- ③ 今まで支援制度があることを知らなかったから
- ④ 利用したいが手続きがわからなかったり、難しかったりするから
- ⑤ そのほか()

放課後や長期休暇中の過ごし方についておたずねします。

Q14 お子さまは放課後、主にどのように過ごしておられますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- ① 自宅にいる
- ② 塾や習い事へ行っている
- ③ 学校の部活動や委員会活動に参加している
- ④ 地域のクラブ活動に参加している
- ⑤ 自宅以外で友だちと遊んでいる
- ⑥ インターネットで学習したり、通話したりしている
- ⑦ そのほか()
- ⑧ わからない

Q15 中学生の放課後の過ごし方について問題だと思うことはなんですか。

- ① 特にない
- ② 大人の目が行き届いていない
- ③ 塾や習い事など経済的負担が大きい
- ④ 家の手伝いなどで忙しい
- ⑤ そのほか()

Q16 お子さまが放課後の生活を有意義に過ごすために、どのようなことが必要であると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- ① 子どもが興味のあるプログラムが用意されている場所
- ② 子どもが一人で静かに過ごせる場所
- ③ 大人の見守りがあり、児童館のように無料で子どもが自由に過ごせる場所
- ④ 交通手段の充実
- ⑤ 自宅以外で自習できる場所
- ⑥ 色々な年代の人と交流する場所
- ⑦ 子どもがいつでも相談できる大人がいる場所
- ⑧ 子ども食堂
- ⑨ 子どものボランティア活動の機会
- ⑩ 子どもが部活動や地域活動へ参加する機会
- ⑪ 補習や地域の勉強会などの学習支援
- ⑫ そのほか()

Q17 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中、大人の見守りがあって子どもが自由に過ごせる場所(こどもの居場所)を新たに設置するなら、どのような場所にあるといいと思いますか(いくつでも)。

- ① 児童館(移動児童館を含む)
- ② まちづくりセンター、自治会館・公民館、会館
- ③ 図書館
- ④ 保健センター
- ⑤ 子ども食堂
- ⑥ 地域の人などが行う勉強会・サロン
- ⑦ カフェなどのお店
- ⑧ ショッピングセンター
- ⑨ そのほか()

子育て全般についておたずねします。

Q18 児童手当などの諸手当の申請や、入所申込等の制度の申請について、どのような方法で申請したいと思いますか(いくつでも)。

- ① 市役所の窓口で申請したい
- ② マイナンバーを使って電子申請をしたい
- ③ マイナンバーを使わない方法で電子申請をしたい
- ④ 市役所の窓口でタブレットなどの端末を使って申請したい
- ⑤ そのほか()

Q19 あなたの家族の近所づきあいはどの程度ですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① まったく付き合いがない
- ② あいさつをする程度
- ③ お互いの家を行き来している
- ④ 困りごとや悩みを相談できる

Q20 地域の活動や地域でのイベント等に参加していますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① よく参加している (Q21 へ)
- ② 時々参加している (Q21 へ)
- ③ ほとんど参加していない (Q20-1 へ)
- ④ まったく参加していない (Q20-1 へ)

Q20-1 参加していない方(Q20 で③④に○)におたずねします。地域の活動やイベントに参加しない理由は何ですか(いくつでも)。

- ① 仕事等で忙しく予定が合わない
- ② 自治会に入っていないので情報は入って来ない
- ③ 関心のある活動やイベントがない
- ④ あまり地域の人や活動に関わりたくない
- ⑤ 参加するために費用がかかるから
- ⑥ 体調が良くない

Q21 湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてどのように思われますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

- ① 大変満足している (Q22 へ)
- ② 満足している (Q22 へ)
- ③ ふつう (Q22 へ)
- ④ 不満である (Q21-1 へ)
- ⑤ 大変不満である (Q21-1 へ)

Q21-1 「不満である」または「大変不満である」を選んだ方(Q21 で④⑤に○)におたずねします。その理由はなんですか(いくつでも)。

- ① 学校の対応に不満があるから
- ② 子育てに関する相談窓口があまりないと思うから
- ③ 子どもの学習支援が少ないと思うから
- ④ 子どもを遊ばせる場所が少ないから
- ⑤ 子育て世帯に対する経済的な補助が少ないから
- ⑥ ワーク・ライフ・バランスが推進されていないと思うから
- ⑦ そのほか()

Q22 子育てや教育の環境や支援に関してご意見がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

2月13日(火曜日)までに

回答はいずれかの方法でお願いします。

①WEBにより回答

②同封の返信封筒に入れて郵便ポストに投函

③同封の返信用封筒に入れて学校へ提出

D 票 こどもの生活実態調査(小学4年生・5年生、中学1年生・2年生)

(調査の目的)

世帯の状況にかかわらず、本市で育つすべての子どもたちが生きる力を備え、心豊かに未来を切り開いていけるよう支援するための計画を策定します。

それぞれの家庭の経済状況が子ども達の生活に及ぼす影響について調査し、子ども達はしたいことをしたい分だけでできているのか、理想と現実のギャップについて現状の確認を行います。理想と現実ギャップがある場合、「経済的な貧困」と「つながりの貧困」の視点で、その原因はどこにあるのかについて確認する調査となります。

なお、家庭の経済状況等については、同時に実施する保護者向け調査とのクロス集計により分析します。

また、家や学校以外の場所で、こどもが自ら参加し、安心して過ごし、自分の思った通り行動し、自由に過ごせる場所(こどもの居場所)を作っていくため、どんな「居場所」であれば行きたいか、「居場所」にどんなことを求めるか、子ども達自身の意見を聴取します。

あなたの ID: _____

Q1 あなたはふだん、学校の授業以外でやりたい分だけ勉強できていますか。

- ① できている
- ② できていない (Q1-1 へ)

Q1-1 (Q1 で「② できていない」を選んだ人のみ)それはなぜですか。理由を選んでください(いくつでも)。

- ① ゲームやテレビなど他のことをやってしまうから
- ② 落ち着いて勉強できる場所がないから
- ③ わからないところがあっても教えてくれる人がいないから
- ④ やる気がでないから
- ⑤ 勉強が苦手だから
- ⑥ 家の手伝いをしているから
- ⑦ つい考え事をしてしまうから
- ⑧ 塾や習い事があるから

Q2 あなたはふだん、学校の授業以外で、どこで勉強していますか。あてはまるものを選んでください(いくつでも)。勉強には学校の宿題も含まれます。

- ① 家で勉強する
- ② 塾で勉強する
- ③ 地域の人などが行う無料の勉強会(らくらく勉強会など)
- ④ 学童保育所で勉強する
- ⑤ 友だちの家で勉強する
- ⑥ 勉強はしていない(宿題もしていない) (Q4 へ)
- ⑦ そのほか()

Q3 あなたはふだん、学校の授業以外で、だれに勉強を教えてもらいますか。あてはまるものを選んでください(いくつでも)。勉強には学校の宿題も含まれます。

- ① 一人です
- ② 親に教えてもらう
- ③ きょうだいに教えてもらう
- ④ 塾の先生に教えてもらう
- ⑤ 家庭教師に教えてもらう
- ⑥ 地域の人に教えてもらう
- ⑦ 学童の先生に教えてもらう
- ⑧ 友だちに教えてもらう

Q4 学校以外の時間で、あなたのやりたいことをやれていますか。

- ① できている (Q5 へ)
- ② できていない (Q4-1 へ)

Q4-1 それはなぜですか。理由を選んでください(いくつでも)。

- ① 塾や習い事があるから時間がない
- ② 学童保育所に行っているから時間がない
- ③ 家の手伝いがあるから時間がない
- ④ 疲れているので家では休みたい
- ⑤ 必要なものが買えない(買ってもらえない)

Q5 あなたは、将来どの学校まで行きたいですか(1つだけ)。

- ① 中学まで (Q5-1 へ)
- ② 高校まで (Q5-1 へ)
- ③ 大学まで (Q5-1 へ)
- ④ 専門学校 (Q5-1 へ)
- ⑤ まだわからない

Q5-1 それはなぜですか。理由を選んでください(いくつでも)。

- ① 早く働きたいから
- ② 勉強をしたくないから
- ③ 学校が嫌いだから
- ④ 進学するより他にやりたいことがあるから
- ⑤ 進学するために必要なお金がもったいないから
- ⑥ 自分の成績から考えて
- ⑦ 親にそう言われているから
- ⑧ きょうだいもそうしているから
- ⑨ 専門的に勉強したいから
- ⑩ 特に理由はない

Q6 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。

・朝食

- ① 毎日食べる
- ② 週5～6日食べる
- ③ 週3～4日食べる
- ④ ほとんど食べない

・夕食

- ① 毎日食べる
- ② 週5～6日食べる
- ③ 週3～4日食べる
- ④ ほとんど食べない

・夏休みや冬休み期間中の昼食

- ① 毎日食べる
- ② 週5～6日食べる
- ③ 週3～4日食べる
- ④ ほとんど食べない

Q7 あなたは地域の行事に参加していますか。「地域の行事」とは、お祭り、運動会、クリスマス会、子ども食堂など、自治会やまちづくり協議会などが開催する行事のことです。

- ① 参加している
- ② 参加していない（Q7-1 へ）

Q7-1 それはなぜですか。理由を選んでください(いくつでも)。

- ① 行事の内容に興味が無いから
- ② いつ・どんな地域行事があるか情報がないから
- ③ 参加費が必要だから
- ④ 塾や習い事で忙しくて行けないから
- ⑤ 家のお手伝い(家族の世話、家事など)があつて忙しいから
- ⑥ 一緒に行く友だちがいないから
- ⑦ 人が多い場所へ行きたくないから
- ⑧ そのほか()

Q8 あなたが困ったとき、悩みを話せる人はいますか。

- ① いる (Q8-1 へ)
- ② いない (Q8-2 へ)

Q8-1 それはだれですか。あてはまる人を選んでください(いくつでも)。

- ① いっしょに住んでいる親
- ② いっしょに住んでいるきょうだい
- ③ いっしょに住んでいる祖父母
- ④ いっしょに住んでいない家族
- ⑤ 学校の先生
- ⑥ 学校の友だち
- ⑦ 学校以外の友だち
- ⑧ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
- ⑨ そのほかの大人(学童保育所の人、塾の先生、近所の人など)
- ⑩ ネットで知り合った人

Q8-2 悩みを話せる相手がほしいと思いますか。

- ① 思う (Q8-3、4へ)
- ② 思わない (Q8-4へ)

Q8-3 どんな人に悩みを話したいですか。1つを選んでください。

- ① いっしょに住んでいる親
- ② いっしょに住んでいるきょうだい
- ③ いっしょに住んでいる祖父母
- ④ いっしょに住んでいない家族
- ⑤ 学校の先生
- ⑥ 学校の友だち
- ⑦ 学校以外の友だち
- ⑧ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
- ⑨ そのほかの大人(学童保育所の人、塾の先生、近所の人など)
- ⑩ ネットで知り合った人
- ⑪ わからない

Q8-4 だれかに悩みを話さない理由はなんですか。あてはまるものを選んでください(いくつでも)。

- ① 相談しても解決しないと思うから
- ② 相談するのが恥ずかしいから
- ③ 内容を説明したりするのが面倒だから
- ④ 気軽に話せる相手がいないから
- ⑤ 相手に時間や気持ちの負担をかけたくないから
- ⑥ そのほか()

Q9 あなたは、家や学校以外に気軽に過ごせる場所がほしいですか。

- ① ほしいと思う
- ② ほしいと思わない
- ③ わからない

Q10 どういう場所であれば行ってみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- ① 自分が好きなことや、興味があるプログラムが用意されている
- ② 一人で静かに過ごしたいので、あまり大人の方から構わないでいてくれる
- ③ 友だちと楽しく話したり遊んだりできる
- ④ 通いやすい(お金がかからない、夜まで開いている、歩いて行けるなど)
- ⑤ 自習ができる設備がある(机、Wi-Fi、コピー機など)
- ⑥ 普段会えないような、さまざまな年代や立場の人に出会える
- ⑦ 話したいときに自分の話を聴いてくれる大人がいてくれる
- ⑧ 無料もしくは安くご飯が食べられる
- ⑨ 特にない

Q11 市内の施設等で気軽に過ごすならどこがいいですか。どの場所も利用料がかからないか、低額で利用できると考えて選んでください(いくつでも)。

- ① 児童館(移動児童館を含む)
- ② まちづくりセンター、自治会館・公民館、会館
- ③ 図書館
- ④ 保健センター
- ⑤ 子ども食堂
- ⑥ 地域の人などが行う勉強会・サロン
- ⑦ カフェなどのお店
- ⑧ ショッピングセンター
- ⑨ そのほか()

Q12 あなたが困っていること、友だちが困っていることなどがあれば、自由に書いてください。

調査票案(第1稿)に対する意見調整(まとめ)

A票

項目	意見	修正案
Q1	未就学児の保護者だと、小学校区がわからない人もけっこう多いので選びにくいのでは。	行政区の記述式にします。
Q3	「高校生までの」という表現では、高校生を含めるのか含めないのか判断しにくい。	「18 歳までの」に修正しました。B 票、C 票も同様です。
	ひとりっ子の場合の記入はどのようにするのか。	設問の表記に「(お子さんが 1 人の場合はそのお子さん)」を追加しました。B 票、C 票も同様です。
Q5	「結婚されていますか」の問に対し、「いる、いない」ではおかしい。	選択肢を「はい、いいえ」に修正しました。B 票、C 票も同様です。
Q8	子育てのなかで、祖父母の役割は大きい。親せきとは別に項目を立てた方がよいのでは。祖父母の役割についての考え方は他の項目、B票、D票も同様。	A 票 Q8、Q9、Q20 祖父母の項目を別に設定しました。 B 票 Q8、Q9 C 票 Q6 D 票 Q8
Q9	相談できる人が「ある」はおかしいのでは。	選択肢を「はい、いいえ」に修正しました。B 票、C 票も同様です。
		相談のしにくい理由を確認するため設問を追加しました。B 票、C 票も同様です。
Q11	どのような場面でのことを問うているのかがわかりにくい。子育てについてか、生活全般か。回答者の捉え方が異なると調査の目的の統計が出なくなる。	保護者の心理状況が子どもに与える影響を知りたいので、生活全般についての心理状況を問うています。表記を修正しました。B 票、C 票も同様です。
Q12	自営業は別項目にしたほうがよいのではないか。 また経済状況について確認する目的であれば、同じ時間働いても正規・非正規で収入が異なるので、いまの選択肢では不十分となる。	Q12 で雇用形態を聞き、経済的な安定度を確認、Q12-1 及び Q12-2 で保育の潜在ニーズが拾えるよう、就業時間や今後の希望を確認します。パート・アルバイトについては認定の基準をわかりやすくするため「64 時間以上」か「64 時間未満」に分けて設定し、実現可能性については設問から外しています。 貧困の原因を分析し、施策の方向を検討するため Q12-4 を追加しました。 B 票も同様です。C 票もこれに準じて修正しました。

項目	意見	修正案
Q15	「収入には～仕送りなども含みます。」は()で囲んだほうがよい。	()を付けました。B 票、C 票も同様です。
Q15-1	今回の調査対象のなかには、支援をまったく必要としない人も多いと思う。「①制度の対象にならないと思うから(収入等の条件)」はそういう人のための選択肢になると思われる。表記の検討を。	「① 収入等の要件が合わないから」に修正しました。 B 票、C 票も同様です。
Q16	どの設問からどの設問へ飛ぶのかわかりにくい。ほかにも同様の内容が散見される。	調査票全体で表記を見直しました。
Q16-2	選択肢に「利用する必要がある」を入れると理由がわからないので削除し、その他の選択肢に記述してもらってはどうか。	「① 利用する必要がある」を削除し、番号を繰り上げました。
Q18	つどいの広場や支援センターなど、制度自体を知らない人もいるのでは。週に何回開催されているのかわからない人もいる。制度を紹介した上で、回答いただくほうがよい。	制度について紹介し、理解いただいた上で回答を求めます。
	幼稚園や保育園のような利用者負担を思い浮かべるので、この表記では回答を誘導することになるのでは。	実費負担があるという意味合いなので、利用負担が生じるという表記は削除し、利用したことがあるかないか問う設問を追加しました。
	問いが唐突な印象なので、Q16 のような流れにしてはどうか。また Q17 のあとに Q20 が来る方がわかりやすい。	Q18～19 と Q20～21 を入れ替えました。
Q19	記入箇所が多いので、項目等を減らせないか。	支援センターとつどいの広場については前の設問で尋ねているので削除しました。「はい、いいえ」ではなく、該当するものに○を付ける方式に変更しました。
Q20	「定期的な教育・保育事業」の表記ではわかりにくい。具体的に(幼稚園、保育園など)を追記してはどうか。	(幼稚園、保育園など)を追記しました。
Q22		実績値が把握できているため設問を削除し、ショートステイの潜在ニーズを確認する項目を追加しました。
Q24	将来的な話で回答するのが難しいのではないか。	今現在 0 歳の子どもも、計画期間内に小学生になる児童になるので、確保量を算出する必要があるため必要な設問ですが、学童保育所やファミサポなど、項目を絞ります。B 票も同様です。

B 票

項目	意見	修正案
Q12	最終学歴を確認する設問だと思うが、回答者によってとらえ方が変わりそうな表記になっている。	問いを「現実的に見てお子さんの最終学歴はどの学校になると思いますか。」に修正しました。C 票も同様です。
		保護者の就労状況を尋ねた項目 (Q12) が番号重複のため、以下番号繰り下げています。以下は繰り下げ後の設問番号で記載しています。
Q13-4	この設問は A 票にも追加した方がよいのでは。	A 票に追加しました。
Q25		潜在的ニーズが推計しやすいよう、希望を問う設問に差し替えました。
Q29-1	学童が不足していると感じているかどうかについて選択肢を追加。	選択肢に「③ 学童保育所が不足しているから」を追加しました。

C 票

項目	意見	修正案
Q7	中学生の保護者であれば進路についての相談も増えると思われるので、選択肢に追加したほうがいいのではないかな。	選択肢に「⑥ 進学について気軽に相談できる窓口」を追加しました。
Q14	選択肢が小学生保護者のままになっている (学童保育所を想定した設問が多い)。中学生にとっては居場所に部活動も入って来るので、選択肢に入れてはどうか。 中学生は保護者責任があるので、B 票 Q16 のような質問 (過ごしの場所) が必要と思われる。中身として、中学生だからこそその過ごしの時間、内容について聞きとれる内容がよいのでは。	Q14～16 として、子どもの居場所の現状と課題、ニーズを確認する設問に修正しました。

D 票

項目	意見	修正案
調査の目的	子どもには内容が難しい。どのように伝えるのか。	こどもの調査はタブレットにより実施し、調査目的はやさしい言葉で口頭説明します。
Q1	「② 自分がやりたい分より長い時間勉強できている」の選択肢は不要ではないか。自分	Q1 の選択肢を「できている、できていない」に簡素化し、選択肢に思うより多く勉強して

	の望む分だけできているのか、できていないのかの2択でよいのでは。	いる子どもも選びやすい項目を増やしました。
Q2	選択肢に方法と場所が混じっていてわかりにくいので、方法と場所は項目を分けてはどうか。	「どこで」と「誰に教えてもらうか」の2つに設問を分けました。以降設問番号が繰り下がります。
Q4	やりたいことがあるかないかを問うのであれば、「ない」の理由を探ったほうがいいのではないか。	やりたいことがない理由を子どもが答えるのは難しい。子ども・若者育成支援計画ではその分析も必要になるかと思うが、今回はヤングケアラーの可能性について確認する目的の項目のため、この項目については削除します。
Q5	社会的に高卒以上という風潮があるので、選択肢①②のみ深掘り質問していると思うが、③④についても確認していいのでは。	「⑤ わからない」の回答者以外すべてに深掘り質問に回答いただきます。大学、専門学校を選んだ子どもが選べる選択肢を増やしました。
Q9	子ども達にとって「居場所」というのは想像しにくいのではないか。もっとイメージしやすい言葉で。	「気軽に過ごせる場所」に修正しました。